



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成18年3月調査分)

景気の現状判断DI

	平成17年12月	平成18年3月	前回調査比
茨城県	54.1	53.1	1.0
県北地域	52.2	46.6	5.6
県央地域	50.9	54.5	+3.6
鹿行地域	54.3	51.3	3.0
県南地域	60.8	57.6	3.2
県西地域	52.5	55.7	+3.2

景気の先行き判断DI

	平成17年12月	平成18年3月	前回調査比
茨城県	52.7	57.1	+4.4
県北地域	49.1	51.7	+2.6
県央地域	52.6	55.9	+3.3
鹿行地域	52.2	59.3	+7.1
県南地域	56.9	64.0	+7.1
県西地域	52.5	54.4	+1.9

平成18年3月

茨城県企画部統計課

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.htm>

目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	4
1 全県の動向	4
（1）景気の現状判断D I	4
（2）景気の先行き判断D I	5
2 地域別の動向	6
（1）景気の現状判断D I	6
（2）景気の先行き判断D I	8
3 回答率	1 1
景気の判断理由	1 2
1 景気の現状判断理由	1 2
2 景気の先行き判断理由	2 2
3 その他の意見	3 2

調査の概要

1 調査の目的

経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

平成18年3月31日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別 業種別調査客体系数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	39	37	36	189
企業関連	製造業(食料品、一般機械器具等)、建設業、金融業		17	16	16	18	19	86
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断(方向性)
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断(方向性)
- (4) (3)の理由
- (5) その他景気に関する意見(自由回答)

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成18年3月調査の調査期間は平成18年3月1日から3月30日である。

5 利用上の注意

- (1) 景気動向指数(DI)は景気の方角性を判断するものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

景気動向指数(DI)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気動向指数(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
 $(1 \times 15.0) + (0.75 \times 27.0) + (0.5 \times 25.0) + (0.25 \times 11.0) + (0 \times 22.0) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \times 100) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気の上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「良くなっている」「やや良くなっている」の回答構成比が減少し、「悪くなっている」の回答構成比が増加したため、12月調査分から1.0ポイント減の53.1となったものの、前回調査に引き続き、横這いを表す50は上回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが12月調査分を下回った。

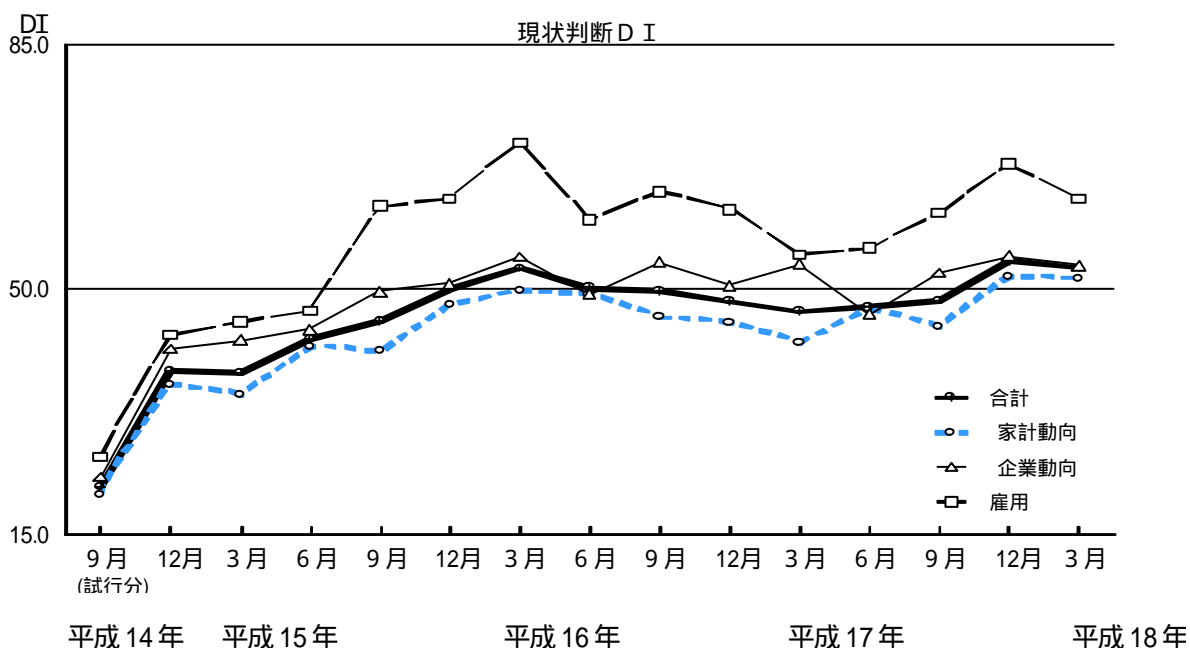
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		46.9	47.7	48.5	54.1	53.1
家計動向関連		42.5	47.1	44.8	51.9	51.6
小売関連		45.4	47.7	47.4	50.7	53.3
飲食関連		36.8	50.0	45.0	53.6	61.3
サービス関連		40.1	44.4	40.9	51.5	46.3
住宅関連		52.8	61.1	58.3	61.1	63.9
企業動向関連		53.6	46.5	52.4	54.8	53.5
農林水産業		46.4	43.8	46.9	50.0	43.8
製造業		53.6	45.8	50.0	53.2	51.0
非製造業		55.2	48.3	57.8	58.6	60.0
雇用関連		55.0	56.0	61.0	68.0	63.0

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年 3月	3.2%	18.7%	45.6%	27.6%	4.9%
平成17年 6月	0.3%	21.0%	53.5%	19.6%	5.6%
平成17年 9月	1.4%	22.0%	51.8%	18.8%	6.0%
平成17年 12月	4.5%	29.6%	47.1%	15.8%	3.1%
平成18年 3月	2.8%	29.5%	48.6%	15.6%	3.5%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは、「良くなっている」「やや良くなっている」の回答構成比が増加し、「悪くなっている」「やや悪くなっている」の構成比が減少したため、12月調査分から4.4ポイント増の57.1となり、前回調査に引き続き、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DIは12月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIは12月調査分を下回った。

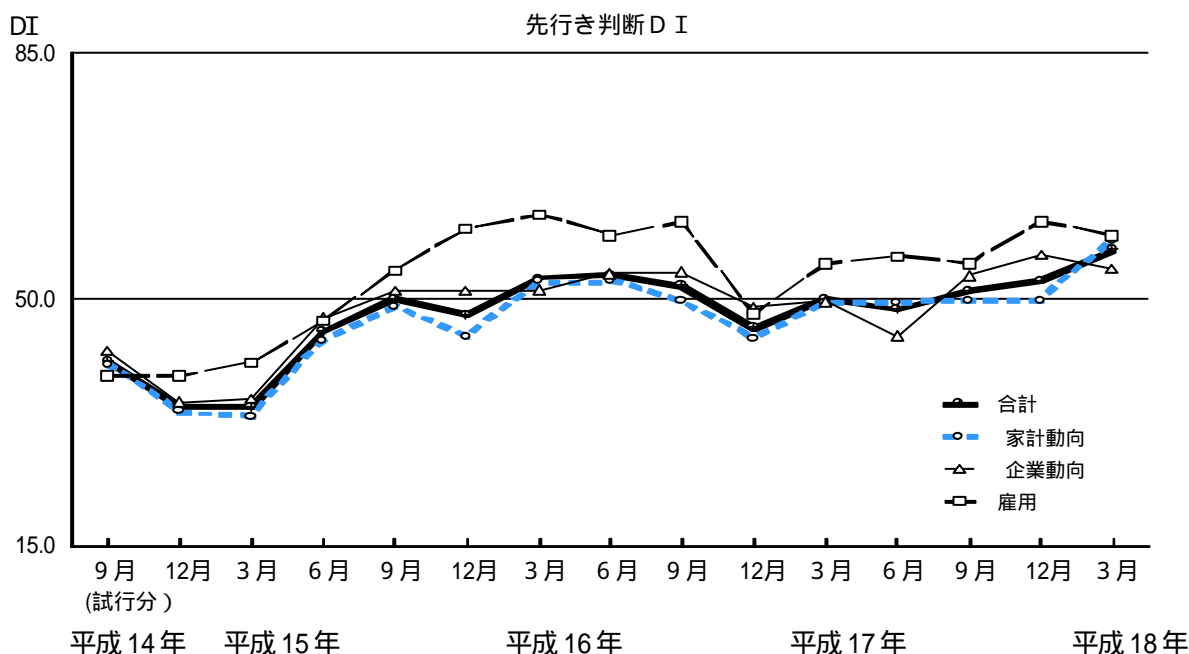
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査日時				
	平成17年 3月	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月
合計	50.1	48.7	51.3	52.7	57.1
家計動向関連	49.6	49.6	49.9	49.9	58.2
小売関連	48.2	50.8	47.8	52.8	58.8
飲食関連	46.1	48.7	47.5	42.9	68.8
サービス関連	51.6	47.8	51.0	48.1	54.7
住宅関連	50.0	58.3	61.1	58.3	61.1
企業動向関連	49.7	44.8	53.3	56.3	54.4
農林水産業	53.6	50.0	40.6	50.0	53.1
製造業	47.9	39.6	52.2	53.7	52.1
非製造業	51.7	51.7	58.6	62.1	58.3
雇用関連	55.0	56.0	55.0	61.0	59.0

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年 3月	2.5%	19.8%	56.5%	18.0%	3.2%
平成17年 6月	1.4%	17.1%	61.2%	15.4%	4.9%
平成17年 9月	1.8%	28.0%	48.6%	17.0%	4.6%
平成17年 12月	3.8%	26.8%	48.8%	17.5%	3.1%
平成18年 3月	4.2%	34.0%	50.0%	9.7%	2.1%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.6であり、12月調査分と比べて5.6ポイント下回った。また、DI値は全県を通じて最も低くなった。業種別にみても、雇用関連DIは横這いだったが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは12月調査分を下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		42.8	45.2	41.2	52.2	46.6
	家計動向関連	36.5	42.1	35.7	51.4	43.8
	企業動向関連	52.9	47.1	48.5	51.5	48.5
	雇用関連	55.0	60.0	55.0	60.0	60.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	0.0%	10.2%	57.6%	25.4%	6.8%
平成17年 6月	0.0%	19.3%	49.1%	24.6%	7.0%
平成17年 9月	0.0%	15.8%	47.4%	22.8%	14.0%
平成17年12月	5.2%	29.3%	37.9%	24.1%	3.4%
平成18年 3月	0.0%	24.1%	43.1%	27.6%	5.2%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは54.5であり、12月調査分と比べて3.6ポイント上回り、前回に引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは12月調査分を上回ったが、雇用関連DIは横這いだった。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		47.3	47.8	49.6	50.9	54.5
	家計動向関連	42.9	46.4	46.7	48.0	52.2
	企業動向関連	56.7	43.8	53.1	54.7	57.8
	雇用関連	50.0	70.0	60.0	60.0	60.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	5.5%	14.5%	47.3%	29.1%	3.6%
平成17年 6月	1.8%	19.6%	50.0%	25.0%	3.6%
平成17年 9月	1.7%	20.3%	59.3%	11.9%	6.8%
平成17年12月	3.4%	22.4%	53.4%	15.5%	5.2%
平成18年 3月	3.6%	29.1%	52.7%	10.9%	3.6%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは51.3であり、12月調査分と比べて3.0ポイント下回ったものの、前回に引き続き横這いを表す50は上回った。業種別にみても、家計動向関連DIは横這いだったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIは12月調査分を下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		45.5	52.1	48.1	54.3	51.3
家計動向関連		40.3	51.3	46.3	50.7	50.7
企業動向関連		56.7	50.0	48.3	57.8	51.6
雇用関連		50.0	65.0	60.0	70.0	55.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪く なっている
平成17年 3月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成17年 6月	0.0%	28.8%	52.5%	16.9%	1.7%
平成17年 9月	3.7%	16.7%	51.9%	24.1%	3.7%
平成17年12月	1.7%	29.3%	55.2%	12.1%	1.7%
平成18年 3月	0.0%	28.8%	50.8%	16.9%	3.4%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは57.6であり、12月調査分と比べて3.2ポイント下回ったものの、前回に引き続き横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、雇用関連DIは12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは12月調査分を下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		50.4	45.7	53.0	60.8	57.6
家計動向関連		48.6	47.1	52.1	60.1	59.0
企業動向関連		50.0	44.4	52.9	60.9	48.6
雇用関連		65.0	40.0	60.0	65.0	80.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪く なっている
平成17年 3月	5.2%	27.6%	36.2%	25.9%	5.2%
平成17年 6月	0.0%	19.0%	56.9%	12.1%	12.1%
平成17年 9月	1.7%	31.0%	46.6%	19.0%	1.7%
平成17年12月	8.6%	37.9%	43.1%	8.6%	1.7%
平成18年 3月	8.5%	33.9%	40.7%	13.6%	3.4%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは55.7であり、12月調査分と比べて3.2ポイント上回り、前回に引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは12月調査分を上回ったが、雇用関連DIは12月調査分を下回った。

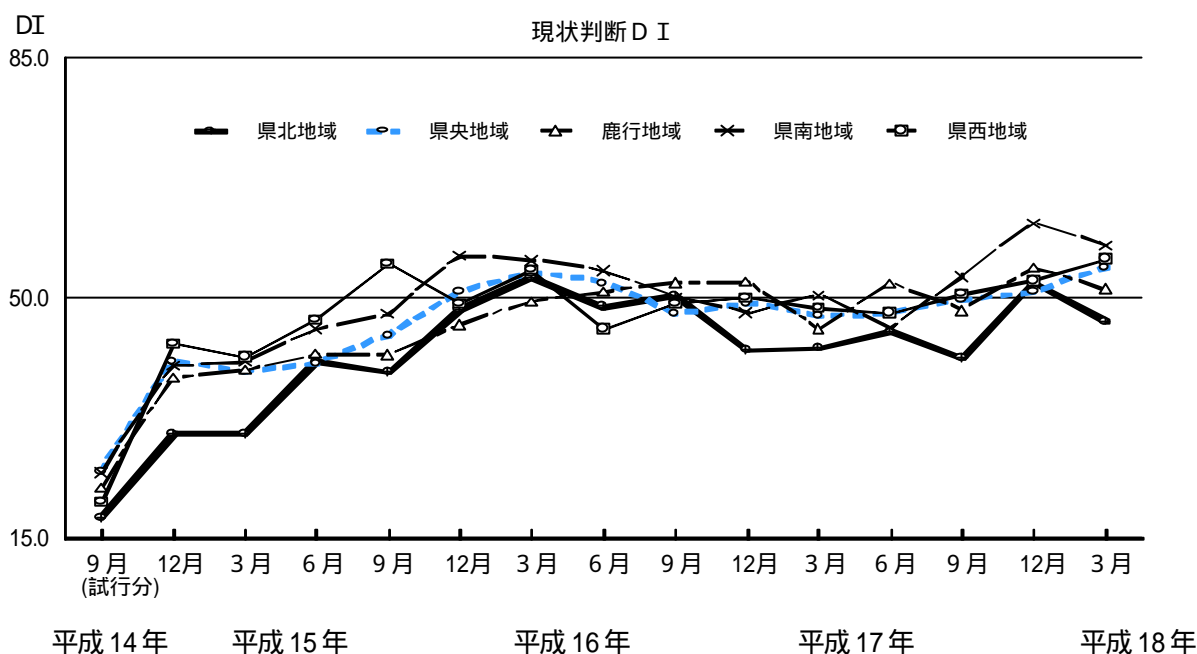
表2 - 9 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		48.6	47.8	50.5	52.5	55.7
家計動向関連		45.2	48.4	42.7	49.3	52.3
企業動向関連		52.6	47.4	58.3	50.0	60.5
雇用関連		55.0	45.0	70.0	85.0	60.0

表2 - 10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	1.8%	23.6%	43.6%	29.1%	1.8%
平成17年 6月	0.0%	17.9%	58.9%	19.6%	3.6%
平成17年 9月	0.0%	25.9%	53.7%	16.7%	3.7%
平成17年12月	3.4%	28.8%	45.8%	18.6%	3.4%
平成18年 3月	1.8%	31.6%	56.1%	8.8%	1.8%

図2 - 1 地域別現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7であり、12月調査分と比べて2.6ポイント上回り、前回に引き続き横這いを表す50を上回った。但し、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連DIは12月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIは12月調査分を下回った。

表2 - 11 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		45.8	46.1	49.6	49.1	51.7
家計動向関連		45.9	46.4	47.1	43.1	51.4
企業動向関連		44.1	42.6	52.9	57.4	54.4
雇用関連		50.0	55.0	55.0	65.0	45.0

表2 - 12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	27.1%	1.7%
平成17年 6月	1.8%	8.8%	64.9%	21.1%	3.5%
平成17年 9月	1.8%	21.1%	56.1%	15.8%	5.3%
平成17年12月	5.2%	19.0%	46.6%	25.9%	3.4%
平成18年 3月	0.0%	34.5%	43.1%	17.2%	5.2%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは55.9であり、12月調査分と比べて3.3ポイント上回り、前回は引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIは12月調査分を上回ったが、企業動向関連DIは12月調査分を下回った。

表2 - 13 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年 3月	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月
	合計		50.5	52.7	53.4	52.6
家計動向関連		52.1	55.0	48.7	48.0	56.6
企業動向関連		45.0	43.8	62.8	62.5	51.6
雇用関連		55.0	65.0	60.0	55.0	65.0

表2 - 14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	1.8%	14.5%	72.7%	5.5%	5.5%
平成17年 6月	5.4%	19.6%	60.7%	8.9%	5.4%
平成17年 9月	3.4%	28.8%	49.2%	15.3%	3.4%
平成17年12月	8.6%	20.7%	48.3%	17.2%	5.2%
平成18年 3月	5.5%	27.3%	54.5%	10.9%	1.8%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは59.3であり、12月調査分と比べて7.1ポイント上回り、前回は引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DIは12月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIは横這いだった。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年 3月	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月
	合計		54.9	50.4	50.9	52.2
家計動向関連		51.4	51.3	52.2	48.6	59.9
企業動向関連		61.7	45.3	51.7	57.8	57.8
雇用関連		60.0	60.0	40.0	60.0	60.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	5.4%	26.8%	51.8%	14.3%	1.8%
平成17年 6月	0.0%	25.4%	54.2%	16.9%	3.4%
平成17年 9月	1.9%	22.2%	55.6%	18.5%	1.9%
平成17年12月	1.7%	22.4%	62.1%	10.3%	3.4%
平成18年 3月	3.4%	39.0%	50.8%	5.1%	1.7%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは64.0であり、12月調査分と比べて7.1ポイント上回り、前回は引き続き横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIで12月調査分を上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.2	46.1	54.7	56.9	64.0
	家計動向関連	51.4	46.4	54.2	57.4	66.7
	企業動向関連	52.8	47.2	52.9	53.1	56.9
	雇用関連	55.0	40.0	65.0	65.0	70.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	1.7%	29.3%	46.6%	20.7%	1.7%
平成17年 6月	0.0%	17.2%	58.6%	15.5%	8.6%
平成17年 9月	1.7%	41.4%	36.2%	15.5%	5.2%
平成17年12月	1.7%	43.1%	37.9%	15.5%	1.7%
平成18年 3月	10.2%	42.4%	42.4%	3.4%	1.7%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.4であり、12月調査分と比べて1.9ポイント上回り、前回は引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DIは12月調査分を上回ったが、企業動向関連DIは横這い、雇用関連DIは12月調査分を下回った。

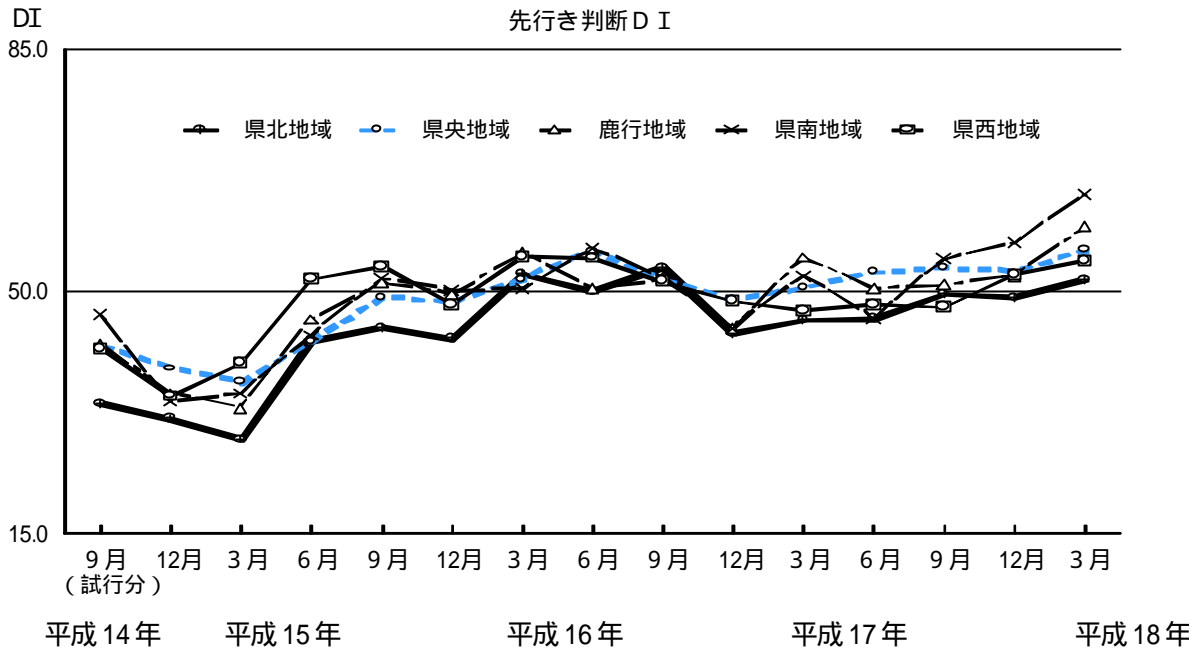
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		47.3	48.2	47.7	52.5	54.4
	家計動向関連	46.8	48.4	46.8	52.1	56.1
	企業動向関連	46.1	44.7	47.2	51.3	51.3
	雇用関連	55.0	60.0	55.0	60.0	55.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 3月	1.8%	18.2%	52.7%	21.8%	5.5%
平成17年 6月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成17年 9月	0.0%	25.9%	46.3%	20.4%	7.4%
平成17年12月	1.7%	28.8%	49.2%	18.6%	1.7%
平成18年 3月	1.8%	26.3%	59.6%	12.3%	0.0%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	288 人	96.0%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	59 人	98.3%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

景気の判断理由

1 景気の現状判断理由

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良			
やや良くなっている	家計	商店街代表者	消費行動に余裕が出てきたように見受けられる。
		スーパー	飲食店、クリーニング店、花屋等に客足が戻っている。衣料品や健康関連の店でも客数が増加している。スーパーでも、こだわりの商品が売れている。価格重視から品質重視へと消費者の購買傾向が変わってきたようだ。
		コンビニエンスストア	客単価の前年割れは続いているものの、売上げは前年と比べて回復傾向にある。
		衣料品専門店	今年は厳冬だったため、冬物の処分がスムーズに済んだ。春物のスタートもまあまあ良いと思われる。
		レストラン	景気が良くなっているように見えるが、まだまだ実感がない。
		居酒屋	客単価が上昇し、利用金額が増加している。また、主婦層や2次会での利用が増加している。
		ドライブイン	暖かくなるにつれ、ドライブ客が増加してきたように思う。桜はこれからだが、偕楽園の梅を目当てに県外から来る客も多い。
		住宅販売会社	消費税率のアップや金利上昇等、消費者に不利となる改正論議が行われているためか、その前に建築したいという需要が増加しているように思う。
	企業	製造業（一般機械器具）	仕事の受注が増加している。中でも、海外からの受注が増えてきた。これに伴い、社内の福利厚生イベント等も拡大しつつある。
		製造業（電気機械器具）	大企業の決算期を迎え、受注量が多少増加している。
		製造業（電気機械器具）	当社の売上げは、前年同期との比較では変化ないが、3ヶ月前と比較するとやや良くなっている。他社は官公庁物件が納品・完成時期を迎えているため、発注額は減少しているようだ。
		非製造業（建設業）	県北地区における建設業全体としての景況感はあまり芳しくないが、下請業者の中には、人手不足になっている所もあるようだ。また、商業施設やマンション等も好調のようである。
	雇用	人材派遣業	派遣取引の料金値上げが認められるようになった。
		求人広告	企業の採用計画が積極的になってきたように思う。
変わらない	家計	スーパー	売上げ、客単価ともに横這い状態が続いており、変化がない。
		スーパー	商品価格に対する客の反応には大きな変化はない。買上平均単価についても同様であり、その他目立った変化は見られない。
		家電販売店	必要に迫られた物を、その都度購入する客ばかりで、買上点数も減少している。
		自動車販売店	販売台数は、前年比98%程度である。
		農産物直売所	来客数に変化がなく、売上げも伸びない。
		小売業（靴製品）	客の様子を見ていると、買物の仕方に変化がない。
		スナック	地元大手企業の社員、特に40～50代の方を夜の街で見かけることが少ない。依然として客単価は上がらず、客からはもっと安くしてほしいとの声が多い。
		居酒屋	見通しの良い話がない。
		観光型ホテル	昨年後期からは、前年に比べやや良くなっているが、ここ3ヶ月での変化はないように思う。
		観光型ホテル	利用者は増加しているが、消費単価は減少しており、総合的な収支状況には変化がない。
		タクシー運転手	飲食店から入る配車の注文件数に変化がない。
		ゲームセンター	忙しいと思うと急に暇になるようで、常連客の中でも生活が不定期な人をよく見かける。
		理・美容店	一部の業種で上向きと言われているが、景気にまで影響している感じはしない。
クリーニング店	客数や客単価があまり変わっていない。		

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	企業	製造業（食品）	販売単価の下落に原油価格の高騰が拍車をかけて、利益率低下の傾向は今後暫く続くのではないかと。
		製造業（電気機械器具）	近所の工業団地内の製造工場で、人員整理があった。これに伴い客が減少し、小さな店が2件閉店した。
		非製造業（建設業）	公共事業を請負っている業者は、4月頃まで受注が安定しているようだが、その他の建設業では動きが鈍い。最近では、建築資材メーカーや都内の大手企業が、地方での工事受注を請け負う例が増え、地域業者の仕事が減ってきている。
		非製造業（金融業）	一時的な受注増は見られるものの、安定的なものではなく、総合的な変化は感じられない。
		非製造業（不動産業）	分譲マンション事業は依然として好調だが、戸建分譲事業は相変わらず客足が鈍く低迷状態が続いている。また、企業の遊休地や低利用の社宅等の福利不動産の処分が計画されているという話も耳にした。
		非製造業（情報処理サービス）	景気が良くなっていると聞かすが、年度末なのに受注が少なく、作業量にも変化がない。
い	雇用	学校就業関係者	求人、新卒採用状況は、昨年より好転しているが、今後の長期採用計画等は不明の企業が多い。
		求人開拓員	求人が増え景気が回復しているように見えるが、次年度計画のための補充であり状況は変わっていない。
		公共職業安定所	運輸・通信業界で僅かながら増加しているものの、依然として求人は減少傾向である。逆に、求職者は増加傾向で推移している。
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	競合店出店の影響により、売上げが悪化している。
		ガソリンスタンド	石油製品については、仕入値の上昇が続く一方、売値が上がっていないので、収益が圧縮されている。
		小売業（酒類）	例年この時期は酒類全般の動きが良くない。本来であれば、日本酒に期待できる季節だが、肝心の日本酒で客離れが目立つ。
		食堂	年末年始が過ぎ、通常ペースに戻ったため、外食の時間が少なくなっているように思う。また、降雪等のため、野菜の値段が高騰しており、生活費を圧迫しているのも、外食機会を減らす要因になっているのではないかと。
		観光型ホテル	年度末のため宿泊の予約状況は良くない。一方、歓送迎会等の日帰り利用客数に変化はない。
		タクシー運転手	営業回数は増えているが、1回あたりの料金が下がっている。企業の経費（交際費・タクシー代）も削減方向という話を聞いている。
		タクシー運転手	仕事の回数が減少しているうえ、単価も低下している。3月上旬、夜10時頃に県北地区の大通りを通過したが、通行人が全くおらず、別の場所を走っているのかと目を疑ってしまった。
		パチンコ店	近隣に競合店が出店してきたため、売上げは減少した。
		レジャー施設	対前年比の売上げが、昨年夏から6ヶ月連続マイナスになった。
		レジャー施設	12月以降、非常に寒い日が続いたので、前年より売上げが減少した。
悪 く	企業	林業関係者	年明け以降、材木価格が下がっている。関係者の話も見通しが暗い。
		水産業関係者	年明け以降不漁が続く、特に、まき網と小型曳網漁業が不漁だった。その影響で、冷凍業や加工業も不景気な状況である。
		製造業（電気機械器具）	作業量が極端に減っている部門がある。
		製造業（輸送用機械器具）	銅・アルミの価格高騰に歯止めがかからないという、原油高騰の影響が樹脂材料をはじめとする関連加工製品等の価格にも波及している。このような変動内容の全てを製品価格に転嫁できないため、収益が圧迫されている。一方で、カーメーカーの価格低減要求は以前より強まる方向である。このような中、国内での販売不振及び海外での現地調達化拡大に伴ない、生産規模の縮小も検討され始めている。
		製造業（電気機械器具）	受注件数、売上高ともに、やや減少している。
悪 く	家計	タクシー運転手	夜の飲食街では、運転代行の利用者が増加する一方で、タクシーの利用客は減少している。また平日の病院でも、病院の送迎車等の導入で、タクシー利用は減少している。
		ゴルフ場	雪によるクローズや寒さの影響もあり、来場者数・売上げともに対前年比で20%以上少ない。特に土・日の来場者数減が顕著である。

(2) 県央地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良く	企業	非製造業（建設業）	水戸駅南地区では、幾つものマンション建設現場が立ち並び、非常に活気がある。不動産も大きく動き始めているようで、価格も上昇傾向にある。
		非製造業（コンサルタント業）	東京のファンドマネーが水戸市を中心に流入している。
やや良くなっている	家計	スーパー	対前年同月比の売上げが、昨年12月は109.7%、今年3月には117.6%と順調に伸びている。
		スーパー	日販品の売上げが、前月を上回っている。
		ファミリーレストラン	店舗の売上げがやや上昇傾向で推移している。また、客単価も少しずつ高くなってきている。
		レストラン	3ヶ月前と比べて、客の入り具合が良くなっている。
		観光型ホテル	消費単価には目立った変化はないが、全体的に明るさが感じられる。
		タクシー運転手	3月は、観梅や企業の異動時期であり、タクシーの利用客は増加する。先日、水戸駅から乗車した自動車販売会社の方は、3月は決算月でもあり、多く売るために普段の月よりもかなり値引きをするため、売上げが伸びると話していた。
		タクシー運転手	年末と比べてしまうと売上げは悪化しているが、対前年同期比ではむしろやや良くなっている。平均して、1日あたりの乗降回数が増加している。
		ゴルフ場	1月は降雪の影響により対前年比830人減少する等、厳しい状況だったが、天候の回復とともに予約申込件数が増加しており、2月は前年を上回り、3月についても前年実績に近づいている。
	住宅販売会社	住宅展示場を訪れる客数及び請負金額が増加している。土地を持たない客の動向が活発化しているのが特徴的である。	
	企業	製造業（食品）	特需注文が増えてきている。
製造業（出版・印刷業）		年度末ということもあり、官公庁の需要が増加した。	
製造業（金属製品）		従来の受注が増加しているが、新製品の発注・見積がない。	
非製造業（輸送業）		単価の高い新規貨物の引き合いが増加している。	
雇用	求人開拓員	全般的に各企業の受注量は増加している。特に、製造業が従前と比較して明るい業況にあり、企業担当者も面談の際、心良く対応してくれる。また、求人数も全般的に増加傾向である。	
	公共職業安定所	1月の有効求人倍率は1.10倍となり、前月より0.04ポイント増加した。平成17年9月時において12年5ヶ月ぶりに1倍を超え、現在まで5ヶ月連続で1倍を超えている。また、対前年同月比では有効求人倍率は24ヶ月連続の増、新規求人数も9ヶ月連続で増加している。	
	学校就業担当者	昨年の同時期と比べると、確かに景気は上向き傾向にあるが、3ヶ月前と比較して更に良くなっているという兆候は見当たらない。	
変わらない	家計	商店街代表者	都内では景気が上向いているという話だが、水戸市内では実感として感じることはない。
		百貨店、総合スーパー	季節的な要因はあるものの、収入面で大きな変化がないため、支出・消費面でもあまり変わらないのではないかと。
		専門スーパー	1～2月は例年になく寒かったため、客足も伸びず、売上げも悪かった。
		自動車販売店	決算期を迎え商品の動きは活発になってきたが、市場は前年並みか、地域によっては落ち込んでいる。
		農産物直売所	野菜が安くなってきたので、買上点数が伸びている割には売上げ増に繋がっていない。ただ、昨年よりは降雪による影響は少なかった。
		専門スーパー	1人あたりの買上単価が伸びていない。また、例年よりも寒さが長引いているため、資材関係（建築資材、農業資材）の動きが悪い。

(2) 県央地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	レストラン	歓送迎会シーズンに入るが、予約件数や人数が例年より少なく感じる。また、1人単価も下がっている。毎月何らかのイベント(低単価だが価値のあるもの)をやらないと集客が難しい。
		都市型ホテル	例年、年末と比較すると客足は落ちるのだが、今年は全体的に利用は横這い状態である。見方を変えれば、やや良くなっているようにも感じる。
		都市型ホテル	歓送迎会や総会等の利用状況も、例年より伸びていない。客の話を聞く限りでも、悪くはなっていないが、良くもなっていないようだ。
		旅行代理店	個人旅行に関しては、可もなく不可もない状況だが、団体旅行に関しては悪化しているように思う。
		タクシー運転手	営業回数も売上げもあまり変わっていない。
		ドライブイン	観梅シーズンに入ったものの、開花状況が遅れており、観光客が昨年同時期よりも少ないように思う。
		観光名所	春の観光シーズンに入ったこともあり、晴れて暖かい日には来場者も伸びている。しかし、人数としては例年並ではないか。
		パチンコ店	自社及び同業他社の様子をみても、変化は感じない。
		レジャー施設	昨年同期に比べ、利用者数が減少しているが、天候不順によるものと思われ、大きくは変わらない。
		レジャー施設	天候に左右されるが、概ね例年どおりの入場者数を確保している。
		建築設計事務所	スパンの長い法人顧客の仕事があり、年度末竣工を目指している。今年度は大口顧客の仕事があったため、売上げも順調だった。
い	企業	製造業(出版・印刷業)	特に変わった様子は見受けられない。
		製造業(一般機械器具)	変わらず順調に推移している。
		非製造業(金融業)	厳冬等の季節要因により、企業の売上げは増加しているが、対前年同期比では大きな変化はなく現状維持である。
		非製造業(不動産業)	来店客数や売上げは、3ヶ月前と変化はない。
		非製造業(広告代理業)	取引先企業の販促予算には大きな増減がなく、穏やかな受注状況である。また、郊外にオープンした大規模商業施設の影響を懸念したが、消費者の動向には大きな変化はないようだ。当該テナントの店員からは、来客数は多いが購入数が伴わないという声を聞いた。
		非製造業(情報処理サービス)	市場の雰囲気は良くなっているが、商談面における好転感はまだ薄い。よって、景況感としては横這いだと思う。
雇用	求人広告	変化する要因がない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	近所に新たな競合店が出店したため、売上げに影響が予想される。
		タクシー運転手	例年この時期は、忘年会や歳暮品購入等の需要がある年末時期に比べ、客足が減少する。
		ドライブイン	客数が減少しているうえに、買上単価も伸びない。見ているだけで、買わない客が多い。
		ゲームセンター	大型商業施設の開業ラッシュにより、客足・売上げともに影響があった。
	企業	製造業(食品)	大型電気店の撤退等、既存店舗の閉鎖が周囲で増えている。
雇用	人材派遣業	人材不足になっているため、新規企業へ人材を供給できない状況である。	
悪く	家計	商店街代表者	ユニー撤退の後、東水ビルの空気が続いていること、更に昨年ダイエー水戸店が閉店したことも影響し、商店街の人出は激減している。
	企業	製造業(土石製品)	今年に入り、個人の受注が激減している。また、マンションの建築数が減少している影響もあり、受注獲得競争が激しくなっている。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良			
やや良くなっている	家計	小売業（金物店）	取引先企業の決算期のため、商品が活発に動いている。
		商店街代表者	好況が続く大手企業と、それを取り込む努力をしている者だけが報われている。同業種の中でも、勝ち組・負け組の格差が広がっている。
		コンビニエンスストア	以前の最悪の時期と比較すると、景気は良くなっていると感じる。
		専門スーパー	来店客数及び売上高が伸びている。
		観光名所職員	暖かくなってきたためか、観光客が増えてきたように思う。土産は何がいいか、食事はどこが美味しいか等、聞かれる機会が増えた。売上げも1年前と比較すると、最近徐々に伸びており、少しずつではあるが景気も良い方向に向かっているのではないと思われる。
		洋食食堂	客数・売上げとも好調である。
		割烹料理店	2月頃までは、繁華街も灯が消えたような感じの日が多かったが、3月に入り、地元大企業に出入りする人が急に多くなった。人の出入りが多くなれば、自然と景気は良くなると思う。
		日本料理店	季節と一緒に客も動き出した感がある。
		室内装飾業	3月は不透明だが、去年と比べると1～2月は忙しかった。
		住宅販売会社	平日に来店する客が増加している。また新築の際、以前に比べてオプションを多めに選ぶ客が増加しているように思う。
企業	製造業（化学工業）	企業収益の改善、設備投資の増加等により、徐々に景気の回復が見られる。当社でも大規模プロジェクトが認可された。	
	製造業（窯業・土石製品）	大手鉄鋼業のH17年度末経常利益は、昨年度を上回り過去最高を記録する見込みである。製造業の好調な景気を反映し、春闘でもH12年度以来のベースアップ要求・過去最高額の一時金要求となり、これに対する企業回答も有額回答が見込まれる。また、周辺企業の採用計画を見ると、H18よりH19年度の採用予定者数を増やす見込みの企業が多いことから、景気は緩やかに上昇していると思われる。	
	製造業（食品）	来店客が増えつつある。外国人客も増加している。2月期の売上げは前年同月比で5%アップした。周囲では、業務拡大に伴ない、新たに雇用確保を行う業者もいるようだ。	
	製造業（飼料製造）	マンションのみならず、個人住宅の建築が多くなっている。	
	非製造業（金融業）	周囲で新車に買い替える人が増えてきた。	
雇用	公共職業安定所	求人数は横這いだが、求職者数は減少している。	
変わらな	家計	商店街代表者	厳冬や降雪の関係で農産物価格は上がったが、出荷数量が減少したため、収入はあまり伸びなかった。現在は農産物価格も落ち着いてしまったので、景気は3ヶ月前と変わらないと思う。
		商店街代表者	新聞紙上等では景気は上昇しているように報じられているが、仕事を通して客等の様子を見る限り、3ヶ月前と変わっていないと思う。
		スーパー	客数・1人当たりの買上金額は増加しているが、買上点数は減少している。
		コンビニエンスストア	売上げや客数の増減はない。先が見えない状況ではあるが、現状が続くと思う。
		家電販売店	当店の客層は中高年が多いが、売上げに大きな変化は見られない。
		自動車販売店	自動車業界では、最高の需要月を迎えているが、実績は今一良いとは思えない。来店者数は増えているが、成約率は良くない。
		小売業（薬品店）	景気回復と言われているが、消費されている商品は限定されていると思う。
		観光型ホテル	利用状況から判断して変わらないと思う。
		小売業（菓子販売店）	景気回復の速度は、地方ではまだまだ遅い。
		ゴルフ場	冬季に売上げが落ち込むのは例年どおりである。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	パチンコ店	変化らしい変化は見られない。
		住宅販売会社	住宅購入者は大企業の社員が多い。中小企業社員との資金力の差を感じざるをえない。若夫婦は共働きで資金力を上げようとしているが、実際には託児所の問題(料金・時間等)や職場環境等で厳しい面があるようだ。現状では、法整備・行政サービス等が不十分なため、購買意欲はあっても資金力がなく、成約に至らない人が多い。
		ドライブイン	厳しい寒さが緩みつつあるが、売上げには大きな変化はない。
		水産業関係者	石油価格の値上がりにより、燃料費が経営を圧迫している。
		製造業(印刷業)	景気が良くなっているという実感が無い。
		製造業(金属製品)	業界では、過去最高益を記録しており、良い状況が続いている。
	企業	製造業(電気機械器具)	鹿行地区は、地元の大手製鉄所の影響が強いが、自社を含め周囲でも大きな変化は見られない。
		製造業(化学工業)	原料価格の高止まりに対して、販売価格を何とか維持している状況に変わりはない。
		非製造業(住宅設備施工業)	建設業界は競争が激しいので、景気は一朝一夕には変わらない。
		非製造業(金融業)	勤労者等の可処分所得は、横這いかむしろ減少傾向にあり、相変わらず財布のヒモは固い。消費の伸びは鈍化したままの状態にあり、活性化は認められない。
非製造業(不動産業)	出入業者や顧客と話していても、景気の良い話をする人がいない。		
雇 用	人材派遣業	鹿嶋アントラーズのクラブハウスやサッカースタジアム、国道51号バイパス沿いのショッピングセンター等、賑わっている場所は従前と変わっていない。居酒屋は盛況だが、割烹屋は低調である。鉄鋼関連企業は史上最高益を出すほど好況だが、中小企業の経営状況の厳しさは依然変わっていないようだ。	
	民間職業紹介業	企業にもよるが、増産等に伴う求人が増加傾向にある。	
	学校就業関係者	是非人が欲しいという企業があまり増えていない。	
	求人開拓員	仕事量は増加しているが、料金単価の厳しい状況は改善されていないという事業所が多い。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業(酒類)	競合他社が販売価格を値下げしたため、若干客数が落ちてきている。全体的には、目標売上げ達成が難しい状況である。
		スーパー	売上高が、前年をクリアできない状態である。
		スナック	来店客の話を聞いていても景気の良い話はほとんどない。職人関係の方は、小さな仕事でぼちぼち食い繋いでいる状況だというし、畜産関係の方は、鳥インフルエンザや狂牛病騒動のあおりで経営的に立ち直るのが難しいようだ。
		タクシー運転手	年度末は仕事が忙しく、疲れて真っ直ぐ帰宅するビジネスマンが多いのか、飲食店に客があまり入っていないようだ。これに伴い、タクシーの利用も少ない。
		タクシー運転手	忘年会や新年会等により、3ヶ月前の売上げが良かったため、比較すると落ちてしまう。
		タクシー運転手	厳冬期なので観光客も少なく、タクシーの利用客も少ない。また、マイカー普及のためか、ショッピングに利用する客も減少している。
		パチンコ店	地域全体として、客数が減少しているのではないか。
	クリーニング店	今年は3月に入っても寒い日が多いため、冬物をクリーニングに出す人はまだ少ない。また、周辺農家で、灯油が値上がりしている割に、ハウス栽培の野菜やイチゴの売値は思うように伸びず、収益は悪化しているようだ。運送業でも、ガソリン価格の値上がり分を運賃に転嫁できず、収益を圧迫されて苦戦しているという話を聞く。	
企業	農業関係者	厳冬期に高騰した青物野菜の価格が、最近急落している。	
	非製造業(輸送業)	例年2月・8月は荷動きが悪くなる時期だが、昨年末~今年3月にかけて在庫量が少ない。どの貨物を見ても予定より出荷が鈍い状況である。	
悪	家計	観光型ホテル	新入社員研修等、企業による団体での宿泊利用が著しく減少している。
	企業	製造業(食品)	年未年始と比べて、荷動きが悪い。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計	商店街代表者	実際に客の入りが多くなっている。
		スーパー	特売等を実施していないのに、3ヶ月連続で売上げが前年を大きく上回っている。価格重視から、多少高価でも欲しいものは購入するという方向へ、消費者の購入判断基準が変化しているように思う。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	当社を取り巻く経営環境は良いとはいえないものの、知り合いの話では、土地の購入依頼や賃貸物件の依頼等が多くなっているようなので、全体として景気は良くなっているのではないかと感じる。
	雇用	雇用相談員	県南地区は、つくばエクスプレスの開業により、東京通勤圏としての開発が順調に進行中である。観光関連業者にも明るさがでてきており、今後の期待が大きい。また、今まで東京都区内に投資されていた資金が流入してきているためか、マンション建設やホテルの買収等も活発である。一方求人面では、有効求人倍率以上に事態は逼迫しており、特にSE、警備保安、運輸、スーパー業界等は、なかなか人が集まらない状態が続いている。かつてはなかったことだが、人材派遣会社からの求人も増加している。
		学校就業関係者	求人広告を見ると、正社員の募集が少し増加しているように見える。また、自分の職場で臨時職員を募集したが、全く応募がこないことから、雇用環境は良くなっていると感じる。
やや良くなっている	家計	スーパー	買上点数が僅かだが増えている。また、高級珍味等の高額商材が動いている。
		スーパー	客数及び買上点数が増加しており、売上げもやや良くなっている。
		家電販売店	テレビやDVDレコーダー等の高額商品の売上げが順調に推移している。特にテレビの場合は、従来のブラウン管テレビに買い替えるのではなく、液晶テレビやプラズマテレビを購入するケースが多い。昨年末から始まったデジタル放送の効果と思われる。
		専門スーパー	1人あたりの買上単価が上がっている。
		洋食食堂	夜の部は相変わらずだが、暖かくなってきたせい、ランチタイムの来客数は多少増加している。
		都市型ホテル	3ヶ月前と比較して、客の動きが良くなってきた。つくばエクスプレス開業後、レストラン、宴会、婚礼の全てで売上げが伸びている。
		都市型ホテル	3月は決算期の企業が多いためか、サラリーマン等の宿泊が増加しているようだ。
		旅行代理店	冬の間、外出を控えていた客が戻ってきている。春先から連休にかけて、旅行を計画する方が多い。これに伴い日常の業務量も増加している。
		旅行代理店	春の観光シーズンを控え、客が動きそうな気配がある。
		ゴルフ場	料金の割高な土曜日の予約が、早めに確定するようになってきた。
		ゴルフ場	コンペの開催数が増加している。まだ寒い季節だが、人が集まるということは、景気が活性化してきているのではないかと感じる。
		理・美容店	婚礼部門では、チャペル挙式から神式挙式へ志向が移行しつつある。当店にも和装文化・着物専門店からの問合せやインターネットによる照会が増えている。これに伴い、業績は10年前の値に戻りつつある。
		住宅販売会社	来店客の動きが速くなっていると感じる。
		良くなる	企業
非製造業（建築設備業）	戸建ての受注件数に変わりはないが、つくばエクスプレス沿線駅周辺の工事が増加している。		
非製造業（不動産業）	来客数及び実収益が増加している。		
非製造業（金融業）	話題の中に「出掛けた・遊んだ・買物した」等の事柄が増えているように感じる。また、不動産の流通も活発化しており、消費マインドの改善がより強くなっていると思われる。		
雇用	人材派遣業		客からのオーダーが途切れなくなった。
	求人広告	どの業種でも、仕事は忙しそうである。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	消費が回復していると言われるが、コンビニでの消費行動にはあまり変化がない。確かに高価でも売れる商品はあるが、上質の物を購入する際は、より品揃えの良い百貨店やショッピングセンターの専門店に出掛ける人が多い。
		コンビニエンスストア	売上げは大きく変わっておらず、景気は良くも悪くもなっていないと思う。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	自動車販売店	各メーカーの新型車も出揃い、決算期を迎えた割には、新車を注文する客の動きは鈍い。中古車は例年どおり動いている。
		農産物直売所	昨年12月前半は野菜価格が低迷していたが、後半以降急騰したため売上げは増加した。しかし、今年2月後半からは菓物が安くなったため、前年の売上げをカバーするのがやっとの状況である。客数の伸びも微増であり、総体的にはあまり変わっていない。
		農産物直売所	農産物価格、特に米価の下落により、農家の景気は良いとはいえない。しかし、農業外収入については明るい兆しが見え始めている。
		洋食食堂	12月は忘年会やクリスマスの食事会があり、3月は学校関係や病院関係、主婦のランチ会の予約が目立つ。来客数や売上げは同じような感じである。
		寿司店	市場に行き同業者と話していても、景気の良い話はほとんど聞かない。市場自体にあまり活気がない。
		和食食堂	客数が伸びていない。特に、ランチタイムのサラリーマンと夕食時の家族層の減が顕著である。
		タクシー運転手	つくばエクスプレスの開業ブームも一段落して、売上げも落ち込むかと覚悟していたが、それほどの落ち込みは見られない。
		ゲームセンター	来客数に変化があまり感じられない。
		建築設計事務所	受注件数に変化がない。
い	企業	農業関係者	農村では人口減少が激しく、農地の担い手不在が将来に暗い影を落としている。また、品目横断政策に伴う助成先細りもあり、農業という産業自体への失望感も伺える。
		製造業（食品）	横這い状態から脱していないと思う。
		製造業（コンクリート製造業）	大型複合施設のオープン等で、景気は良くなっているように思われるが、既存商店街の人の流れは少なくなっており、県南地区全体として見ると、景気が上向いたとはいえないのではないかと。
		製造業（一般機械器具）	駆け込み需要はあるものの、例年のことであり、大きな変化は感じられない。
		非製造業（建設業）	現状に変化はない。取引企業でも、機械購入、増築、社員採用等の設備投資の話はあまり聞かない。
		非製造業（輸送業）	自社で捌ききれず、外部へ委託する貨物が増えている。安い単価でも利益を生むためには、仕事の無駄を省き、作業効率を上げる努力が必要である。
雇用	公共職業安定所	業況調査の結果からは、前年から横這いという感触を持つ企業が多いようだ。求人面では、パートが全体の3分の1以上を占める程増加しており、一方で正社員の募集は減少している。求職はやや減少気味で落ち着いている。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	衣料品・身の回り品販売店	冬物から春物への端境期であることに加え、3月に入っても寒い日が続いていることから、衣料品を中心とした春物への購買意欲が低い。
		ガソリンスタンド	顧客から明るい話は聞かれない。特に、建設業や電気設備業の顧客の中には、支払いが遅延するケースもあり、厳しい経営状態が推測される。
		タクシー運転手	例年、2月の売上げが年間を通じて最も低い。
		タクシー運転手	営業範囲の中心が観光地（筑波山周辺）なので、寒い期間は客が少ない。
		レジャー施設	単純には言えないが、寒さが厳しかったため客入りが悪かったように思う。
	企業	製造業（一般印刷業）	年度末は地方公共団体関係の受注により売上げが伸びる時期だが、3月より資材が一斉に値上がりするうえ、地方公共団体の予算が縮小されているため、売上げは減少している。
製造業（金属製品）		3ヶ月前の売上実績は対前年比で約15%増だったが、今年に入り1、2月とも売上げは前年比横這いの状況が続いている。一方で、12月以降、原材料価格が大幅に上昇（対前年比+50%）しており、収益面が悪化している。	
非製造業（建設業）		昨年同時期に比べて、受注が減少している。同業他社でも同様な状況のようで、仕事がないかとの問い合わせが他社から入ることがある。	
悪 く	企業	製造業（食品）	1～2月は年間で最も売上げが少ない時期である。
		製造業（食品）	年末の忙しさと比べると、当月は悪くなっている。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良	企業	製造業（化学工業）	分野により二極化している。デジタル家電等の民生用途は需要が鈍化しているが、パソコン関連用途の材料は急激に伸びている。
やや良くなっている	家計	専門スーパー	売上げは前年を上回るようになってきたが、依然として売れ筋は、特売品や低価品に偏っている。
		ガソリンスタンド	郊外に大型スーパーができ、筑西市周辺から上三川町や水戸市内原方面まで出かけて買物することが当たり前ようになってきた。従って、ガソリンの需要も落ちることなく推移していくように思う。但し、個々のガソリンスタンドをみると、小山地区や新4号バイパス沿いの安値店に客を奪われている店も多く、淘汰は更に早くなると危惧している。
		洋食食堂	出足は遅いが、ほぼ常に満席になる。最近、家族単位の客が増えたようだ。
		和食食堂	今まで採用を手控えていた大手企業や金融関係企業の採用が活発化しており、当社では新卒者の採用予定人数を確保するのが困難な状況である。また、パート・アルバイトの確保も厳しくなりつつあり、時給も上昇しつつあること等から、景気はやや良くなっているのではないが。
		和食レストラン	企業の接待関係客が増加している。客単価も上がっている。また、20代を対象に求人を募集しても反応が鈍い。
		都市型ホテル	業種によって差はあるが、製造業を中心に忙しくなっているようだ。ホテルでも、季節柄歓迎会等の利用が増えている。
		旅行代理店	新卒の状況なのかは不明だが、雇用状況が多少良くなっているという話を聞く。
		建築設計事務所	企業関係の設備投資が積極的になり、工場建設用地の引き合いも多くなっている。
	企業	農業関係者	消費者の意見や要望等に迅速に対応することによって、売り場の業績が若干伸びてきている。
		製造業（石材業）	同業者は、毎年仕事が少なくなっているところが多いが、当社は順調に受注は入り、現在の人員では忙しい位の業務量である。
製造業（金属製品）		受注量が増加している。機械等のセールスが増えているので、動きが活発化しているのだと思う。	
製造業（一般機械器具）		現在仕事を受注している企業だけでなく、他社からも見積り依頼があった。	
非製造業（建設業）		一部企業が好調なのか、年度末の影響なのか、理由は明確ではないが、多少良くなっている気がする。しかし、市街地の商店街では依然としてシャッターを下ろした店が目立つ。	
非製造業（不動産業）		売買目的の客が確実に増加している。	
雇用	求人広告	求人広告の量が増加している。特に、建設部材工場等からの人員募集が多い。	
	公共職業安定所	新規求職者の減少及び新規求人数の増加が見受けられる。	
	学校就業関係者	派遣会社からの問い合わせが3~4社あった。	
変わらない	家計	商店街代表者	今年は寒さが厳しかったため、商店街を出歩く人通りも少なく感じられた。結果的に、売上げも前年を下回ってしまった。
		スーパー	当店を含め、近隣の競合スーパーでは、週に何度も折込チラシを入れているが、そのチラシを片手に各店舗を回り、チラシ掲載商品のみ買い回る客も依然として多い。
		スーパー	客数はほぼ横這いだが、客単価が若干減少している。
		スーパー	マスコミ等では景気の良い話を耳にするが、実生活では大きな変化を感じない。
		コンビニエンスストア	セールやキャンペーンを実施しても一時的プラス効果であり、客単価が上がらない。消費環境は依然として良くなっていないと思う。
		家電販売店	「ついで買い」が少なく、買上点数が増えない。
		自動車販売店	目玉商品により客足は増えるが、一般商品の売上げは変わらない感じがする。
		農産物直売所	客の購買意欲は変わっていないように見える。
		寿司店	客との会話で、景気の良い話をあまり聞かない。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	都市型ホテル	客数も客単価も3ヶ月前とあまり変わっていない。
		タクシー運転手	毎年のことだが、この時期は客足がやや低迷する。
		タクシー運転手	工業団地へ向かうビジネスマンの数や様子からも、あまり変化を感じない。商店街や夜の繁華街の活気も以前に比べるとまだ弱い感じがする。
		ドライブイン	最近の変わりやすい天候により、客入りの良い時と悪い時の差が大きいですが、平均するとほぼ横這いである。
		ゴルフ場	3ヶ月前と同じような感じで推移している。
		レジャー施設	3~4月は、卒業・入学、就職・異動、歓送迎会等のシーズンであり、出費が嵩む時期である。季節は良くなるが、レジャー施設への客足は特に変わらないと思う。
		理・美容店	同業者と話していても、忙しくなったという話はあまり聞かない。
		理・美容店	大きくは変わらないが、前年度と比べると売上げ自体はそれ程悪くない。3ヶ月前の12月は年内で最も忙しい時期のため、比べるべくもないが、例年の3月としては客の流れは悪くないように思う。
		住宅販売会社	土・日曜でも、住宅展示場等の集客が伸びない。
	企業	農業関係者	販売品の価格はやや上向いているものの、重油等の資材費が高騰しているため、収益を圧迫している。
製造業（食品）		原料高、資材品の値上げにより、粗利を確保するのが難しいが、簡単に販売価格に転嫁できないジレンマがある。	
製造業（食品）		原油が高止まりしており、燃料及び包装資材等の値上げ要請が強くなっているが、末端における製品への価格転嫁はできる状況にない。	
製造業（印刷業）		自動車部品メーカーの下請け会社は、親会社の恩恵を受けて好調のようだ。不動産業は、異動時期のため賃貸アパートの仲介等の需要はあるが、建売（新築・中古物件とも）は売行きが悪いらしい。商店街は相変わらず「シャッター通り」になっている。当社も、期末にもかかわらず需要が増えず、厳しい3月期を過ごしている。	
製造業（石材業）		石材業において春彼岸の3月は、1年の中でも受注が増加する時期だが、今年は年末頃と同程度しか受注がない。	
製造業（電気機械器具）		あまり変化が見られない。	
製造業（印刷業）		政府が発表した経済指標等によると、デフレを脱却し、景気は上向きつつあるとの予測がなされているが、現場での実感はない。	
非製造業（金融業）		事業所や商店等の売上げは、ほぼ横這いである。	
非製造業（広告業）		仕事量も請負価格も、3ヶ月前とあまり変化がない。	
非製造業（コンサルタント業）		年度末なので、取引先の企業も忙しいようだが、まだ「景気が良くなっている」とは言い切れない状況である。	
雇用	就職相談員	求人数は多くなっているが、契約・派遣・パートとも条件が悪くなっているため、就職決定は足踏み状態である。	
やや悪く	家計	タクシー運転手	例年、年末年始が過ぎると売上げが極端に下がる。
		ドライブイン	今年は寒さが厳しく、一般的に開花も遅いため、土・日曜以外は客入りが非常に少ない。
		ゲームセンター	水戸市周辺に大型商業施設がオープンした後、集客が落ちている。
雇用	人材派遣業	親会社からの求人が少ないので、仕事の量も減っていると思う。	
悪	家計	クリーニング店	石油価格の値上がりと厳冬が重なりダブルパンチとなった。現在は開店休業状態である。

景気の判断理由

2 景気の先行き判断理由

(1) 県北地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良			
やや良くなっている	家計	商店街代表者	季節的にも消費が活発になり、商店の売上げも上がってくるのではないかと。
		スーパー	買上1点単価が上昇してきているので、今後売上げも増加すると思われる。
		スーパー	新車や電気製品等の買い替えの際も、1~2ランク上の商品が動いている。景気への安心感がそうさせるのかもしれない。このような消費傾向は3月以降も続くのではないかと。
		コンビニエンスストア	高価な商品でも、それだけの価値があるものは売れている。欲しいものを買うだけの余裕が出て来たのではないかと。
		家電販売店	サッカーワールドカップの関連需要で、映像関連商品の売行きは若干なりとも上向くと予想される。但し、その分若しくはそれ以上に、白物家電・家事関連商品の落ち込みがあると見込まれる。
		小売業(酒類)	4月に入ると、歓送迎会等により飲食店利用が活発になるため、酒類の消費増も幾分期待できると思う。
		レストラン	コートが必要ないくらい暖かくなったら、人出も増して客足も一層伸びるのではないかと。
		居酒屋	地元の大手企業で賃上げがあり、今後地域の景気は良くなっていくと思われる。また業況が良ければ、企業の接待等の利用にも期待できるのではないかと。
		スナック	マスコミで景気回復と報道されているので、寒さとともに、客の財布のヒモも緩むことを期待したい。
		食堂	気候が良くなれば、外出・外食の機会も増え、消費も拡大すると期待している。
		観光型ホテル	新緑の季節となり、観光客も増加すると見込んでいる。
		タクシー運転手	歓送迎会や花見の人出に期待したい。
		ゴルフ場	寒さがやや緩んできたこともあり、予約状況が早まっている。また、コンペの予約も増えてきた。
		レジャー施設	問合せや予約電話が前年より多いため、春休み以降の集客を期待している。また、施設をリニューアルしたので、利用客の消費拡大にも繋がることを併せて期待したい。
理・美容店	ボーナス時期なので、消費者の購買力に期待し、積極的に誘客に努めたい。		
企業	企業	水産業関係者	現在海流は、親潮系寒流が強く張り出しているため、今後はこの寒流系の魚が漁獲対象になる見込みである。また、水産庁の資源管理により復活しつつあるサバの漁獲も見込まれる。よって、小型船ではコウナゴ、まき網船ではサバの漁獲に期待している。
		製造業(食品)	例年、季節要因により販売数量が増加する傾向がある。
		製造業(一般機械器具)	今後2年先まで受注案件があり、仕事は忙しくなりそうだ。
		製造業(電気機械器具)	2007年上期の予算を見ると、機種ごとではあるが、右肩上がりの傾向である。
		非製造業(情報処理サービス)	提案してきた商談が、受注に結びつかない状況が続いてきたが、最近顧客も前向きに検討を始めている。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	現状に変化はなく、厳しい状態が続くと思われる。
		スーパー	景気上昇を期待できるような材料が思い当たらない。例えば、サッカーワールドカップで日本がかなりの好成績を修め、夏が猛暑になる等、消費が活発になる条件がいくつか重なると、それがきっかけとなって景気が上向くかもしれない。
		農産物直売所	近隣に大型スーパーが開店したことに伴い、安い商品を大量に購入する傾向がみられる。
		小売業(靴製品)	良くなる要素も悪くなる要素もない。
		居酒屋	景気についての話題がない。
		観光型ホテル	予約状況から鑑みて、今後も大きな変化はなさそうである。
		タクシー運転手	景気が良くなる理由が何もない。
		ドライブイン	消費行動が積極的になった様子は見受けられない。高額の買物をする客もいるが、ほとんど買物をしない客もいる。

(1) 県北地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	レジャー施設	現在は寒さのため入場者数が少なく、客の様子から先行きを予想することは困難だが、良くなるような兆しは見受けられない。
		住宅販売会社	消費税率や金利が上がる前に建築したいという「駆け込み需要」は、当面継続するのではないか。
	企業	製造業（一般機械器具）	政府の金利政策が即影響することもないと思われ、当面現行の状態で推移するものと予測される。
		製造業（電気機械器具）	現在は一時的に受注量が増加しているが、この状態が長続きするとは思えない。得意先の担当者のお話でも、先行きは不透明である。
		製造業（電気機械器具）	来月以降も、受注・売上げの伸び悩みが予測される。
		製造業（電気機械器具）	夏向けの商品を製造している企業は、ここ数ヶ月間は仕事量が増加すると思う。しかし、原油高の影響やコストダウン要請を考慮すると、特に県北地区では、景気が大幅に改善するとは思えない。
		製造業（輸送用機械器具）	海外での現地調達化傾向は、今後更に強まるものと予想される。
		非製造業（建設業）	取引先のお話を聞いていると、景気が良いという企業と、未だ駄目という企業とははっきりと分かれる。その区分は以前よりも一層明確になっていると感じる。
		非製造業（建設業）	土地の動きがあまり見えない。企業で設備投資関連の動きが活発になれば、業況にも良い変化が出るのではないか。
		非製造業（金融業）	大口顧客の受注状況においても、当面現状で推移するものと思われる。
	非製造業（不動産業）	夏季賞与の時期だが、不動産業界を活性化させる要因としては弱いように思う。当面低迷状態は続くのではないか。	
	雇用	学校就業関係者	長期的な採用計画が不明の企業が多く、将来的な見通しは依然として不透明な気がする。
		求人開拓員	数年ぶりに高校新卒者を採用するほど、雇用環境には改善が見られるように思われるが、実際には減らした人員の補充に過ぎない。
		求人広告	大型商業施設の出店が相次ぐ県央地区へ人材が流出してしまうことを懸念している。
公共職業安定所		管内主要企業の業況調査において、各企業経営者は先行きに期待しつつも、依然として厳しい見方を変えていない。現在業況が良いと判断している起業でも、先行きには不安感を残しているようだ。また、運輸業や製造業等においては、原油価格高騰の影響をまろに受けており、仕事はあるが利益は少ない苦しい経営状況だと多く。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	衣料品専門店	地元の大手スーパーが4月で撤退するので、短期的には閉店セールによる影響（売上げ減）が大きいと思われる。
		ガソリンスタンド	仕入価格高騰の影響を売値に転嫁できずに収益が圧縮される状況は、物販業界では少なからず起きている。この苦境は当面続くのではないかと懸念している。
		観光型ホテル	昨年同期よりは良くなると思うが、例年6月頃は売上げが低迷する時期である。
		タクシー運転手	地域的に、地元大企業からの注文が売上げのかなりのウェイトを占めているのだが、その企業で合併・吸収の話が出ている。
		ゲームセンター	税金の控除が無くなり手取り額は減っている。一方企業では労務費削減策を講じたり、給料の下降を検討している。客のお話を聞いていると、会社に不満を持つのは当たり前のように思っている人が多い。
		クリーニング店	ガソリンや灯油の値上がりの家計を圧迫し、クリーニング経費が節減されるのではないかと懸念している。
	企業	林業関係者	将来的な見通しは暗い。
製造業（電気機械器具）		対前年同期比では良くなる予想だが、現在の売上げが好調なため比較するとやや悪くなってしまう。他社や当社受注先の企業は、国内物件の受注が多少増えると予想している。	
雇用	人材派遣業	雇用環境もある程度落ち着き、サイクル的に好調から下降に転じてくると考えられる。	
悪 く	家計	タクシー運転手	飲食店に活気がないうえ、代行利用者が多いため、営業回数が伸びない。病院等の送迎でもタクシー利用が減っており、先行きに明るさが見えない。乗客からも、景気が上向くという話は聞こえてこない。
		パチンコ店	競合店出現の影響は大きく、売上げ減は当面続くと思われる。

(2) 県央地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計	住宅販売会社	消費税率の引き上げへの不安感による駆け込み需要が見込まれるため、客数・請負金額ともに、今後増加すると思われる。
	企業	非製造業（建設業）	3ヵ月後も現在の上昇傾向が継続しているのではないかと。店舗関連の物件は以前に比べて動きが鈍いようだが、老人施設やマンションの動きは今後益々活発になると思う。
		非製造業（コンサルタント業）	東京のファンドマネー流入の動きは今後も継続すると思う。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	取引先の大手メーカー担当者のお話では、各社昨年と比べ、少しずつだが確実に業績が上向いているらしい。
		スーパー	悪くなる理由がないので、売上げ増の傾向は当面継続すると思われる。
		ファミリーレストラン	大手企業を中心に景気回復傾向にあるため、個人消費が少しずつ伸びるのではないかと。
		レストラン	予約状況からみても、好調に推移すると思われる。
		観光型ホテル	都市部を中心に景気が回復していると思う。
		タクシー運転手	気候も暖かくなれば、人の動きも活発になってくるのではないかと期待している。
		タクシー運転手	3～5月は、歓送迎会や企業の異動時期でもあり、タクシー利用は増加すると思われる。
		ドライブイン	アウトレットモールが大洗町にオープンすることで、客足が多少上向くと思われる。
		レジャー施設	新規利用者の問い合わせや契約がやや増加している。
	レジャー施設	3月大洗町にアウトレットが開業するため、周辺施設の利用拡大及びそれに伴う消費拡大を期待している。	
	企業	非製造業（不動産業）	昨年と比較すると、来店客数はやや増加している。但し、高額物件よりも小額の物件を探す方が多く、財布のヒモは依然として固いと感じる。
	雇用	求人開拓員	企業の人事担当者との面談では、仕事量の増加に伴ない、人員増を真剣に検討しているという話を良く聞く。ニュース等で大企業の人員増が報道されると、マインド的に自社についても検討せざるをえない状況になるらしい。
		求人広告	商業地の開拓等により、雇用が増加している。
公共職業安定所		3月17日に水戸京成百貨店、3月18日には大洗リゾートアウトレットモールが開店する。また、4月末には水戸駅南口の再開発により、シネコンやホテルがオープン予定であり、平成19年春には茨城町に大型ショッピングセンターが新設される計画である。このため、今後求人数は増加する一方だと思ふ。	
学校就業担当者		年末頃より、一部の中堅企業から就職内々定が出始めたことから推測して、景気は昨年同期より回復基調にあることが伺える。また、企業の人事担当者と話していても、昨年度より採用人数を増やすと予定している所が少なくない。	
変わらない	家計	商店街代表者	規制緩和という経済政策の下では、旧来の小売業の経営を維持するのは大変厳しい。既存の市街地・商店街は全国的に衰退していくのではないかと危惧している。
		百貨店、総合スーパー	季節的な影響はあると思うが、収入に変化がなければ、消費においても大きな変化はないと思う。
		専門スーパー	必要な物以外は購入しないという消費傾向は、依然として続いている。
		自動車販売店	接客していても現状を維持するのが大変という声が多く、今後景気に大きな変化はないと思う。
		農産物直売所	例年、3～4月は気候が良くなるものの、卒業・入学等の出費のため財布のヒモが固くなる傾向がある。5月の連休までは売上げ増は期待できない。
		専門スーパー	石油関連商品の価格が落ち着いてきたので、多少購買意欲も回復してくると思うが、客との会話では特別景気の良い話は聞かない。
		レストラン	悪天候や原油価格の高騰により、仕入れ原価が上がっているが、商品価格に転嫁するのは難しい状況に変わっていない。
		都市型ホテル	職種にもよると思うが、短期での回復は難しいと思う。
		旅行代理店	個人旅行に関しては変わらず推移すると思われるが、団体旅行に関しては良くなる兆しが無い。

(2) 県央地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	最近は乗客から景気の話も出なくなった。
		タクシー運転手	6月は観光シーズンも終わり、年度末の異動も落ち着いてくるうえに、梅雨に入るため、人の動きは期待できない。
		ドライブイン	客の様子からも、売上げ等からも、良くなる気配が感じられない。
		観光名所	5月の連休を中心に、人出を見込める時期だが、売上げは例年並ではないか。嗜好品を求める程、消費者の財布のヒモが緩んでいる気配はないため、例年以上の売上げを期待するのは難しいと思う。
		ゴルフ場	従来は、4月頃からシーズンに入り盛況を見せ始めるが、ここ3年くらいは予約申込件数の伸びが見られず、オン・オフの差がなくなってきているように思う。
		パチンコ店	景気が変化する気配が感じられない。
		ゲームセンター	大型商業施設の開業が一段落するため、今後の変化はあまりないと思う。
		理・美容店	今までどおり変わらないと思う。
		建築設計事務所	来年度の仕事はある程度確保できている。但し、合併絡みのインフラ整備関係の仕事では、打ち合わせ段階でストップしている物件もあり、景気の良さはあまり感じない。
	企業	製造業（出版・印刷業）	団体の総会や各種大会等が行われる時期なので、現状の継続が予想される。
		製造業（出版・印刷業）	特に目立った変化は見受けられない。
		製造業（金属製品）	顧客の値下げ要請が一段と強くなっている。これに対処するために新たな設備が必要になるため、非常に負担である。
		製造業（一般機械器具）	将来のことは不透明だが、このまま順調に推移してほしい。
		非製造業（輸送業）	原料高によりコストアップしているが、その部分が製品単価に反映されるのは当分先になりそうだ。
		非製造業（金融業）	増税不安や金利の先高感等が、購買意欲の低下に繋がり、現状維持が精一杯だと思う。
非製造業（広告代理業）		取引先企業の来年度の販促予算には、大きな変化はなく前年並みのところが多い。	
非製造業（情報処理サービス）		景気好転、デフレ基調の改善等、市場に良い材料はあるものの、原油の高値推移や予測される日銀総量規制緩和策の撤廃等の影響が不安材料となる。投資に対して様子見も見られ、総体的にはあまり変わらないと考える。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	競合店の出店に伴う、売上げ減を懸念している。
		スーパー	今月末、近くに競合店が出店するため、その影響を懸念している。
		都市型ホテル	ブライダルシーズンだが、予約状況を見る限りでは例年に比べて目立った変化がない。
	企業	製造業（食品）	材料の仕入価格上昇により、原価が上がっているにもかかわらず、卸先業者からは掛率低減を要求されており、今後ますます収益が圧迫されることを懸念している。
		製造業（食品）	ゴミの有料化を始め、公共料金の値上げだけが先行しては、消費者の財布のヒモが緩むとは思えない。
雇用	人材派遣業	人材不足で、新規企業へ人材を供給できない状況は当面続くと思われる。	
悪	企業	製造業（土石製品）	将来の景気について、明るい材料がない。

(3) 鹿行地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良	家計	観光名所職員	5～6月頃は1年で1番忙しい時期であり、売上げも期待できる。客も周囲の雰囲気につられ、財布のヒモが緩むのではないかと。
		副料理店	地元の企業に出入りする人が増えているので、これに関連して飲食店の利用も増えると期待している。
やや良くなっている	家計	小売業（金物店）	鉄鋼業界の景気動向がやや上向きなので、顧客の企業も仕事が忙しいらしい。これに伴い商品も活発に動くと思込まれる。
		商店街代表者	地元大手企業の好況がこのまま続けば、鹿島臨海地区においては少しずつ景気が好転していくのではないかと。
		小売業（酒類）	3月下旬頃より創業祭が始まる。彼岸需要と併せて、これから特売が強化されるので、売上げもある程度回復できると見込んでいる。
		コンビニエンスストア	企業業績等も良くなっているようなので、今後の消費拡大等に期待したい。
		家電販売店	地元大企業の景気が良いようなので、今後消費も拡大してくるのではと期待している。
		専門スーパー	ここ数ヶ月、来店客数及び売上げが伸びており、今後もこのまま順調に推移すると期待している。
		小売業（薬品店）	長期間続いたゼロ金利政策がようやく終わり、これから景気回復が始まると期待している。
		観光型ホテル	予約状況から判断して、今後やや良くなってくると思う。
		タクシー運転手	潮来市のあやめ祭りがあるため、観光客の利用が増加すると思う。
		タクシー運転手	5～6月は、あやめ祭りが開催されるので、観光客のタクシー利用が見込まれる。
		タクシー運転手	地元大手企業が好況なので、ビジネス関係の仕事が多くなっていくのではないかと。また、Jリーグの開幕とともにサポーターの利用も増加すると思込まれる。
		洋食食堂	イベントが多い時期なので、まとまった人数を見込むことができる。現在の利用者数に比べて、店の席数にはまだゆとりがあるので、更に客数を増やしていきたい。
		日本料理店	少しずつだが、企業の接待客が増えてきた。
		住宅販売会社	冬季オリンピックやワールド・ベースボール・クラシック（WBC）、サッカーワールドカップ等、今年は世界的なスポーツの祭典が多く、心理的に明るくなれる気がする。また、政局も安定したように見えることから、客の購買意欲も高まっていくのではないかと。
		良	企業
製造業（食品）	卒業式、入学式、行楽シーズン等の季節的要因があるため、多少の荷動きを期待している。		
製造業（窯業・土石製品）	鉄鋼業を始め、大手製造業のH18年度の設備投資は順調である。親会社の高炉改修投資による粗鉄生産量の生産拡大に向けた巻き返しも進められており、関係企業にとっても好材料である。また、H18年度の国内製造業向け需要も良好の見通しであり、堅調な親会社の下、関係企業も回復基調にあると思われる。当社を取り巻く環境としては、量的金融緩和政策の解除に伴ない、金利上昇を見込んだ民間住宅事業等が拡大すれば好材料となるだろう。		
製造業（食品）	製菓・製パン業では、年間で最も売上げの伸びる時期なので、対前年比5%程度の伸びを見込んでいる。		
製造業（飼料製造）	今後、金利の上昇や消費税率の大幅アップが予想されるため、収入は増えていないが、大型物件の先取り需要が見込まれる。		
非製造業（金融業）	収入が少し増えたという声を聞くようになった。		
雇用	公共職業安定所		
変わらない	家計	商店街代表者	現在の農業政策は、国内の農産物価格が高くなると輸入し、安値になった場合には対策がほとんど取られないので、農家の収入は伸びない。そのうえ、原油価格の高騰に伴ない、農業資材も値上がりしているが、その全てを価格転嫁することは困難なため、結果的に農家の収益を圧迫しているのが現状である。
		商店街代表者	今後3ヶ月で大きな変化はないと思うが、将来への明るさは感じられる。

(3) 鹿行地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	スーパー	客数・買上単価は増加するものの、買上点数が減少するという状況が半年ほど続いており、今後も変化の兆しがない。
		コンビニエンスストア	客の様子を見ていると、明るい雰囲気もある気がするが、人口減少や株価不安等、社会全体としての回復気運が弱い中では、普段の生活に変化はないと思う。
		スーパー	良くなる要素が今のところ見当たらない。
		自動車販売店	客自身が現状を維持することに精一杯で、「より上級の物が欲しい」とか「驚かしよう」という発想がないように思う。
		スナック	ここ10年近く、景気回復を期待し続けているような気がする。早く地域経済も上向いてほしい。
		小売業（菓子販売店）	半年や1年では良くならないと思う。
		パチンコ店	周辺環境が変わる見込みもないため、現状のまま推移するのではないかと。
		パチンコ店	近くに大型スーパーが出来るため、人の流れが変わり、客足が伸びることを期待している。
		クリーニング店	冬物セール期間を長くしているため、取扱総量は増加しても売上げに変化はないと思われる。
		室内装飾業	景気が良くなる要素が見当たらない。
		住宅販売会社	大企業と中小企業との賃金格差は正や、子供を持つ女性が働きやすい職場づくり、保育環境の整備等の諸問題が改善される見通しが不明のため、業況にも変化はないと思う。
		ドライブイン	所得格差が年々大きくなりつつあるので、今後も売上げに大きな変化は望めないと思う。
		企業	水産業関係者
製造業（印刷業）	「悪くなる」とは感じなくなったが、「良くなる」とまでは思えない。		
製造業（化学工業）	原油価格の高騰や電気蒸気の高値は、未だ続いているので、将来的に大きな変化はないと思う。		
製造業（金属製品）	業況が急速に悪化するとは考えられない。今後暫くは変わらず、良いまま推移すると思われる。		
製造業（電気機械器具）	来年度の予算を見ても、季節的要因はあるものの大きな変化を見込まない傾向が強い。周囲の企業も同様のようであり、3ヶ月先も現在と大きな変化はないのではないかと。		
製造業（化学工業）	原料価格の高止まりに対して、販売価格を何とか維持するという状況に変わりはないと思う。		
非製造業（輸送業）	原油及び他原料の高騰に伴ない製品価格を値上げしたため、荷動きに大きな変化はないと思う。例年、4月頃から春物需要の生産及び集約が始まるが、この先どの程度の荷動きになるかは明確でない。		
非製造業（金融業）	好材料を持っている企業もあるが、ほとんどの企業で好転の目処が立っていない状況である。企業間の格差がますます拡大している印象を受ける。		
非製造業（不動産業）	仕事や客数が今後増加していくという明るい展望がない。		
雇用	人材派遣業	表面上は変わらないものの、底堅い景気動向が続いており、ベースアップやボーナスアップを期待している人も多いのではないかと。	
	民間職業紹介業	新年度に入り、企業の動きも活発になると思われるが、現状と大きく変わることはないと思われる。	
	学校就業関係者	良い話も悪い話も聞かない。	
やや悪く	家計	ゴルフ場	シーズンインにも関わらず、予約が全く入っていない。
		理・美容店	時期的なものもあるが、例年6月頃は売上げが落ちる。
企業	非製造業（住宅設備施工業）	大手プレハブ業者や、土地分譲関係の業者は景気が良さそうだが、住宅設備施工関係にはあまり良い兆しは見えない。	
悪	家計	観光型ホテル	予約状況や客の消費単価減から推測して、今後も売上げが伸びるとは思えない。

(4) 県南地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良くなっている	家計	商店街代表者	例年2～5月は、売上げが上昇傾向になる。
		スーパー	以前と違い、飲食関係の取引客から悲観的な言葉を聞かなくなった。最近買上点数が増えてきたことから察して、今後景気は良くなっていくのではないかと。
		スーパー	行楽シーズンを迎えるにあたり、消費者の購買意欲が更に高まっていくと考えられるので、引き続き景気は良くなると思う。特に当店では、リカー部門の売上げが伸びており、酒税率改定による駆け込み需要が見込まれる。
		都市型ホテル	消費者物価指数も上がり、今後益々景気が良くなると思う。実際に、宴会の予約件数も増加傾向である。
	企業	製造業（食品）	3ヶ月前と比較すれば、良くなると思う。
やや良くなる	家計	雇用 雇用相談員	昨年より原油高が続き、景気のマイナス要因となってきたが、企業努力によって少しずつ収益は改善されつつあり、今後も継続されると思われる。大企業と中小企業との賃金格差は依然として大きいですが、求人の逼迫状況が今後も続けば、賃金上昇にも繋がっていくのではないかと。
		スーパー	競合店の出店も落ち着き、大きな不安要因はない。売上げも順調に推移すると思われる。
		コンビニエンスストア	若干ではあるが、買上単価の上昇が見られ、消費者の財布のヒモが緩み始めているように感じる。
		衣料品・身の回り品販売店	春物・夏物が順調に推移すれば、相応の売上げは確保できると思われる。
		家電販売店	デジタル放送開始に伴い、液晶テレビやプラズマテレビの売行きは今後も順調に推移するものと思われる。また、サッカーワールドカップの開催もあり、DVDレコーダー等の高額商品の売行きも期待できる。
		寿司店	店の前のアパートに空き部屋が4つ程あったのだが、最近全てに入居者が決まったようだ。また、近くの空き地にも家が建って若い家族が引っ越してきた。新しい住民が増えて、地域にも活気がでてくるのではないかと。
		和食食堂	気候が良くなるにつれて外出の機会も増加すると思われるので、これに伴い来店客数の増も期待したい。
		都市型ホテル	宿泊、宴会、レストラン利用ともに、順調に予約が入っており、売上げもやや良くなると思われる。
		旅行代理店	ツアー等の申込時期が、昨年より2週間ほど早まっている。今後も予約件数は順調に伸びていくことが予想される。
		旅行代理店	予約状況も好調で、春の観光シーズンを迎え、客が動き出したようだ。
		タクシー運転手	4～6月は、企業の転勤・異動等で、人の動きが活発になるため、売上げ増が見込める。
		タクシー運転手	春になって、人の動き（入社・入学・転勤等）があれば、それなりに需要が増えてくると思う。
		タクシー運転手	梅祭りが始まり、暖かくなってくると、札所巡り等の観光客が増えてくると思う。
		ゴルフ場	来場者の話し振りから、好況感を感じる。株価や物価等、指標の内容に満足感があるようだ。
		ゴルフ場	予約状況からも、コンベ数の増加傾向は顕著である。会社関係だけではなく、友人・知人とのコンベも増えており、交際費等に支出する余裕が生じているのではないかと。
		パチンコ店	春闘で、業績の良好な企業が賃金要求を容認する姿勢を見せたことは、他の企業にも少なからず影響を与えていると思う。これにより、労働者の給与が増加し、個人消費が若干でも増加することを期待したい。
		レジャー施設	気候も温暖になり、行楽シーズンを迎えるので、人出の伸びを期待している。
		住宅販売会社	消費者の活発な動きは、今後も当面継続すると思う。
	企業	製造業（食品）	季節要因を加味して、やや良くなると思う。
製造業（窯業・土石製品）		金利の先高感はあるが、賃上げや新規雇用の増加等からみて、今後景気は上向いていくのではないかと。	
製造業（コンクリート製造業）		つくばエクスプレス開業に伴い、沿線に新しい生活圏が整備されたり、企業・工場が誘致されたりすることで、県南地区全体として景気が上向いていくのではないかと。	
非製造業（建設業）		当社の取引先は県内大手企業10社程度あるが、先方との会話では、設備投資をやりたいのはヤマヤマだが、資金はなく、借りてまではやれないので、もう少し様子をみたいという声は何件か聞かれた。中でも、工場内の床・壁・外壁等の環境整備を行いたいという声が多かった。	

(4) 県南地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
やや良く	企業	非製造業（不動産業）	個人，企業ともに動きが出て来た。現在の好調を維持して今後も順調に推移すると思う。
		非製造業（金融業）	県南地域ではつくばエクスプレス開業により，沿線周辺地域の開発が活発化しており，今後ともその状況は継続していく感がある。また，マンションや大規模商業施設の建設も見られ，その波及効果が期待できる。
	雇用	人材派遣業	今までは買い手市場だったが，徐々に売り手市場に変わってきている。
		求人広告	仕事の忙しさは，収入の増加に繋がるので，今後消費拡大・景気回復に繋がっていくのではないかと。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	客は無駄な商品は購入していない。逆に価格は高くても価値のある商品は購入しているようだ。
		自動車販売店	決算期の現状で，客の動きが今ひとつなので，今後もすぐに変化はないと思う。
		農産物直売所	日本経済の回復傾向が報道されているが，売場では目立った好材料は感じられない。
		農産物直売所	現在，日本の農業は大きな過渡期を迎えている。30年以上続いた減反政策が終わり，平成19年度から新たな農業政策がスタートするが，新しい政策の下では，小規模農家が補助や融資を受けるためには，他の農家と共同で法人経営をする必要がある。各方面で問題視されている「格差」が，これを機に農業分野においても生じてくるのではないかと。
		ガソリンスタンド	大手企業は良くなってくと思うが，中小企業には変化がないのではないかと。むしろ，やや悪くなっているという声も聞かれる。
		小売業（各種食料品）	売上げも客数も急速に変わるとは思わない。
		洋食食堂	これからの時期，いろんなイベント等があるが，直接売上げや来客数の増加に繋がるとは考えにくい。
		洋食食堂	予約中心の店なので，年間を通じた来店サイクルは概ね把握しているが，大きな変動はなさそうである。
	企業	ゲームセンター	ゲーム機器の人気にも大きな変化がないまま，現状推移していくと思われる。
		農業関係者	県南地区でも，農村地帯では開発行為もなく，一部では圏央道[首都圏中央連絡自動車道]の買収金が入るといふ話も聞くが，リストラや新農業政策への不安等は解消できないため，将来的に消費が上向くとは考えにくい。
		製造業（食品）	客数，客単価に変化がないと思われる。
		製造業（一般機械器具）	生産は，ほぼ横這いで推移する見込みである。
		非製造業（建設業）	昨年と比べて，年度末の受注が少ないので，この先もあまり期待できないのではないかと。
		非製造業（建設業）	急な変化ではないが，徐々に周囲の人の顔に明るさが戻ってきたように思う。つくばエクスプレスの関係で，不動産屋も忙しそうに見える。しかし，客からかなり値引きを要求されているようなので，まだそれ程良くはないのかもしれない。
雇用	非製造業（建築設備業）	見積り状況等から判断して，売上げの伸びは変わらないと思う。	
	非製造業（輸送業）	新規貨物の引き合いはあると思われるが，単価が安く，短期間の貨物に近いため，既存荷主との調整がつかない。既存荷主の商品取扱量も，当面は現状のまま推移すると思われるが，将来的には減少傾向かもしれない。	
	公共職業安定所	業況調査ではやや低下する見通しとなったが，雇用面では人手不足感が見られる。季節的な動きとして，年度が替わる時期は，求人・求職とも増加が予想される。	
やや悪く	学校就業関係者	世間の景気は回復しているように思えるが，総合的に判断すると，大きく変動するとは思われない。	
	家計	理・美容店	美・理容業界は，安売りのチェーン店が旧来からの個人店に二極分化している。個人店では，顧客の高齢化，後継者不足等の問題に加え，手軽な自宅ケア商品（ヘアカラー，ヘアピース等）が増加していることもあり，新規若者顧客の獲得に苦慮している。
悪	企業	製造業（金属製品）	主要取引先の今後3ヶ月の受注量は，対前年比で横這い程度を予想しているが，最近半年間の受注確定数を前年同時期と比べると，いずれの企業も下振れしている。コスト上昇分を価格転嫁しにくい状況や，4月以降大手メーカーのコストダウン要請が強まると予想されることから，先行きの見通しは悪化するものと判断した。
	企業	製造業（一般印刷業）	時期的に受注件数の減が見込まれるうえ，資材の値上がりや，受注金額の縮小化等の傾向は今後も継続すると思われる。

(5) 県西地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良	企業	製造業（化学工業）	パソコン等に使用されるパッケージ基盤の需要は今後も伸び続ける見通しである。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	友人の設計士が、今年に入って住宅設計の仕事が忙しくなってきたと言っていた。また、近所の空き地が造成・分譲され、1年の間に19区画のうち80%に住宅が建設されている。
		スーパー	上場企業の業績を分析すると、軒並み良くなっているため、景気が回復に向かっているのは間違いのないと思う。
		コンビニエンスストア	最近、来店客層が高齢者まで次第に拡大している。それに伴い、高齢者にも利用価値や商品価値が認められつつあり、客数及び客単価の増加に繋がっていくことが期待される。
		農産物直売所	多くの産業で賃金のベースアップが見込めそうなので、今後消費も拡大していくのではないかと。
		専門スーパー	当店では生活関連用品を中心に扱っているが、最近消耗品関連の動向は良くなっている。また、近隣に大型病院が移転してきたので、病院関連用品の動向にも今後注視していきたい。
		洋食食堂	暖かくなり入客が期待できる。客の話を聞いていても、あまり暗い話は聞かなくていい。
		和食食堂	人材確保が難しくなっていることに加え、1人当たり客単価の緩やかな上昇傾向が続いている。この傾向は今後も継続すると思われるため、景気も好転していくのではないかと。
		和食レストラン	企業の景気が良くなれば接待等の機会が増え、客数・売上げとも増加すると期待している。
		都市型ホテル	雇用も上向き、賃上げムードもあり、県内に大手企業が進出する話もあると聞いた。数年前と比べると、景気は良い方向に向かっていると思う。
		ドライブイン	季節が良くなり、身も心もウキウキして、行楽に出掛ける人が増加することを期待している。
	クリーニング店	今年は厳冬だったので、衣替え時期には冬物が多くでると思う。その需要増に期待したい。	
	企業	農業関係者	雇用環境が若干ではあるが改善されつつあるように思う。
		製造業（一般機械器具）	企業によっては、3ヶ月先の仕事の話がきている。
非製造業（不動産業）		金利も上昇傾向にあり、今後來客数、成約数いずれも増加すると思われる。	
雇用	公共職業安定所	製造業を中心に、新規求人数の増加があり、また新規学卒者の内定状況も良いため、景気も回復してきていると思う。	
変わらな	家計	スーパー	日本経済全体では上向きのようなのだが、特に茨城県の小売業においては、スーパーの売場面積は増加傾向にあるが、需給のアンバランスは解消できていない。
		スーパー	一部の業界では景気が良くなっているようだが、流通・小売業界では売上、客数等からも良くなっているとは判断できない。
		家電販売店	購買者層が年齢的に高く、今以上の売上げを望めそうにない。
		ガソリンスタンド	原油価格は50～60ドル代で高止まりすると言われていたが、それでも需要は変わらないと思う。毎月毎月が値上げの連続である石油業界だが、客の反応にまだ悲壮感までは感じられない。「仕方ない」という客の諦めによって、現在ガソリンスタンドの経営は成り立っているのだと思う。
		寿司店	宴会の予約状況を見る限りでは、今後も景気に大きな変化はなさそうに思う。
		都市型ホテル	景気が良くなるのではと期待させる要因がない。
		旅行代理店	今後景気が好転する材料がない。
		タクシー運転手	乗客との会話でも、景気の良い話は聞かれない。
		タクシー運転手	3ヵ月後は、卒業・入学・異動等の時期を過ぎ、忙しさが一段落した頃なので、売上げ等に大きな変化はないと思う。
		タクシー運転手	世間一般の景気はやや上向きのようなのだが、客の様子や声からはまだ上向きの気配は感じられない。とはいえ、悪化する気配もないので、当面現状維持で変化はないのではないかと。
ドライブイン	だんだん暖かくなってくるので、人手の伸びを期待しているが、売上げ増に結びつくとは言い切れない。		

(5) 県西地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	ゴルフ場	客の予約プランを見てもあまり変化はない。
		ゴルフ場	日銀の量的緩和策解除に伴う影響が、多少なりともあるのではと懸念している。
		レジャー施設	県内には新しい商業施設である大型ショッピングセンター、アウトレットモール等が次々に開店しているが、地域密着型の地元商店街と郊外型の大型店、消費者はどちらを選ぶのか、選ぶ基準は何なのか動向が気になる。
		理・美容店	どうしてもパブルの頃と比べてしまい、景気が悪いと思っていたが、ここ数年の売上げを見ても上向いており、それ程悪くはないと思う。
		住宅販売会社	1月のキャンペーンでは、応募八ガキが他の展示場に比べ非常に多かった。しかし、現状で展示場への集客は伸びておらず、今後改善する見通しも薄い。
		建築設計事務所	全ての業種・企業で景気が良い訳ではなく、競争の激しさは増して、更なる色分けがされていくと予想される。
	企業	製造業（食品）	依然として、食品業界を取り巻く環境は厳しい事柄ばかりで、あまり光明が見えない。
		製造業（食品）	日銀の量的緩和策解除を受けて、金融機関の金利が高くなってくると、借入れの多い企業では金利負担だけでも経営をかなり圧迫するだろう。
		製造業（石材業）	県西地区の石材業に、将来的な好転材料がない。
		製造業（金属製品）	受注量の見通しが不透明なので、売上げ等も大きくは変化しないと思われる。
製造業（電気機械器具）		今後、景気を変化させる要素が見当たらない。	
製造業（印刷業）		県西地区の印刷業では、依然としてデフレ状態が続いているが、県南地域のパート時給は上昇傾向であり、人も不足気味ようだ。	
非製造業（建設業）		地方部での景気回復は、まだまだ先のことだと思う。	
非製造業（金融業）		設備投資等が増える見込みは薄く、景気が良くなるとは思えない。	
非製造業（広告業）		現在受注している仕事の量をみても、この先景気が大きく変わることはないと思う。	
雇用	人材派遣業	職種にもよるが、3~6月は例年仕事が少ない。	
	求人広告	特に大きな変化はないと思われる。	
	学校就業関係者	ガソリン、軽油の価格が3月になり少し上がったのが気になるが、大きくは変わらないと思う。	
	就職相談員	今より好転するか、悪化するか判断しかねる。	
やや悪くなっている	家計	自動車販売店	流通に関していえば、大型店には客足が向いているようだが、小売店や商店街では閉店が加速しているように感じる。
		ゲームセンター	今後も、水戸地域の大型施設による影響（集客減）は継続すると思う。
		理・美容店	顧客の来店サイクルが更に伸びたように思う。
企業	農業関係者	重油等資材費の高騰により収益は圧迫され、農家の手取り収入は減少するのではないかと。	
	製造業（印刷業）	繁忙期の3月期でさえ厳しい状況なので、例年仕事の少ない6月期はどうか心配している。上場企業では、3月期決算で増収増益の所が多いが、その恩恵が中小企業へ廻ってくるのは一体いつ頃になるのだろうか。当面は、企業努力をして、ガマンガマンの気持ちで頑張るしかないと思っている。	
	製造業（石材業）	中国メーカーの参入により国内の業者を交えた仕事の取り合いは、今後益々激しくなりそうであり、過当競争は当面継続すると思われる。よって、受注を確保したければ、超至急の注文等を受けるしかないのが実情である。	
悪			

(1) 県北地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 関 連	商店街代表者	趣味や娯楽に金と時間をかける余裕のある高齢者が増えてきたことから、団塊の世代が大量定年時代に入ってきつつあることが見て取れる。当商店街は、いわゆる企業城下町にあるので、この傾向が一層顕著に感じられる。
	スーパー	季節催事の際に支出する金額が少なくなっているように思う。
	スーパー	3月にオープンする水戸京成百貨店への関心が高い。ブランド店の導入等、消費者の購買意欲を掻き立てるポイントが多いと思う。
	家電販売店	地域関連会社の合併、これに伴う配置転換等によって、収入減となる社員が多いと聞く。あくまでも地域限定の話だが、今後景気は落ち込むのではないかと懸念している。
	小売業（酒類）	インターネット販売の数字が上がっている。
	小売業（靴製品）	厳冬と石油高のため、ハウス農家でコスト増になったと聞いた。
	レストラン	地域の飲食店で組織する団体の会員数が減少している。5年前は600店舗あったのに、現在は400店舗と過去最低になってしまった。
	スナック	個人客は少なく、集会や行事等の場合だけ店を利用するという客が多い。
	食堂	今年の冬は寒さが厳しかったため、外出機会が例年より少なかったように思う。夕方以降に街を歩いている人もあまり見かけなかった。これから暖かくなってくるが、街に人を出す工夫、積極的に消費してもらう工夫をもっと行うことが必要だと思う。常に消費者が新鮮に感じる街づくりを行政にも期待したい。
	観光型ホテル	一時、景気の上昇気運を感じたが、最近はあまり感じられない。これから始まる春闘の結果等を判断材料にして、今後の景気動向を注視したい。
	観光型ホテル	利用客は、売店の土産物や、食事時の飲料等にあまり出費しない。
	タクシー運転手	地元企業で系列間の吸収・合併話がでているらしい。
	タクシー運転手	地元からデパートが撤退した。
	タクシー運転手	当社の売上げは、大口の受注先の動向に大きく左右されるため、受注先企業の業況が気になる。
	ドライブイン	製造業等では、残業日数が増えているようだ。
	ゴルフ場	2月に入り、ショップの割引セール品が動くようになってきた。1人で何点も購入する客がいる。その他の利用状況には大きな変化はない。
	ゲームセンター	正社員の雇用が極端に少ない。一方、契約社員の解雇や異動は多い。企業では、いかに時間外手当を支払わずに効率良く勤務させられるか、シフトに頭を捻っているようである。
	レジャー施設	来場者の滞在時間が短くなっているように感じる。売上げが伸びないので、経費削減を今まで以上に厳しく求められるようになった。
	レジャー施設	周辺地域で、今年アウトレットモールが2店舗オープンするため、相乗効果で利用客が増加することを期待している。
	理・美容店	近所の会社も、夜7時を過ぎると静かになる。3月期の決算を見てみなければ、業況の本当のところは判別できない。
理・美容店	伊勢甚デパート日立店の跡地に、新店舗が出店するという情報を聞いたが、早期実現を心待ちにしている。現在、高級品は日立市外へ買いに行くことが多いので、できれば高級感のある出店を希望したい。	
クリーニング店	家電量販店や大手食品店等が、郊外に大型店舗を出店するケースが目立つ。旧商業地の空洞化が更に進み、地域の小型店舗の経営はますます困難になると思う。	

(1) 県北地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	水産業関係者	水産業を取り巻く金融、流通等の環境は、国の金融緩和措置にも関わらず依然として厳しい。経営に苦慮して、倒産する漁業者・加工業者も後を絶たない状況である。水産業は収入・支出とも変動が非常に大きいので、陸上の金融スケールには合わない。この点を理解して、水産金融をスムーズにしてほしい。
	製造業（食品）	中小企業間の競争激化に伴ない、利幅が低下する傾向にある。このため、新規商品や新分野への進出を考える企業が多くなっているようだ。
	製造業（一般機械器具）	鉄鋼業界と自動車業界の景気が良いと聞いている。電機業界は、回復の兆しがあると聞いているので今後に期待したい。
	製造業（電気機械器具）	日銀の量的金融緩和政策によって、今後景気にどのような影響が出るのか、企業の経営者は心配している。
	製造業（電気機械器具）	昨年度の企業利益に対する設備投資は一段落したようで動きが鈍い。本年度3月決算分の企業利益に対する設備投資は、5～6月頃に計画され、見積発注は6月以降となる模様である。
	製造業（電気機械器具）	近くのゴルフ場が、会社更生法の更正手続き開始の申し立てを行った。このゴルフ場だけは大丈夫だと思っていただけにショックだった。
	製造業（電気機械器具）	環境問題により、材料や部品の生産中止、あるいは材質の変更等が行われ、価格の高騰や入手困難等の影響が出ている。
	非製造業（不動産業）	閉店するスーパーがある一方で、新規開店のスーパーがあり、勝ち負けの二極化が一層進んでいるように感じる。市街地の商店街では、閉店する小売店が目につく。
雇用 関連	学校就業関係者	企業業績が好転しているといわれるが、当社が開催している技術習得のための講座受講者数は増加していない。従業員の教育・訓練を積極的に行うまでには至っていない企業がまだ多いと思われる。
	人材派遣業	各企業での直接雇用が進んでいる。
	求人開拓員	介護施設が数ヶ所オープンしたため、求人は増加しているが、一方で閉鎖するサービス業（スーパー等）がある。求人・求職数が数字的に合いそうだが、専門分野の求人であり充足していない。
	求人広告	団塊の世代の退職等により、今後より人材不足が深刻化しそうである。

(2) 県央地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 関 連	商店街代表者	3月中旬に水戸京成百貨店が新装開店する。このことが、水戸市の中心街にどのような影響を及ぼすのか、水戸駅前に移ってしまった賑わいを再び泉町界隈に取り戻せるのか、非常に関心を持っている。
	商店街代表者	昨年11月の内原イオンモールのオープンに続き、今年3月の大洗リゾートアウトレットモール、また今夏にはひたちなか市にもアウトレットモールがオープン予定である。更に、茨城町や那珂市にもショッピングセンター出店の話があると聞く。水戸市の中心市街地は崩壊寸前である。
	百貨店、総合スーパー	各店舗でセールを実施している時期だけに、消費者の価格に対する意識が高いように感じる。
	スーパー	単身者の購買が好調である。
	自動車販売店	最近、年金や医療負担の話をよく聞くようになった。先行きが不安だという声もよく聞く。
	専門スーパー	新入学の通学用自転車の売れ筋が、低価格なものに移行している。また、異動シーズンの関連商品売上げも年々縮小している。
	ファミリーレストラン	ガソリン価格が値上がりし始めた。
	レストラン	賃上げ交渉の時期になったが、業績の良し悪しによって大きく影響されるため、なかなか期待できないのではないか。
	都市型ホテル	水戸市内原に大きなショッピングセンターが出来たが、集客のピークはオープン当初だけと聞いた。消費者の購買意欲や地域の景気も、まだ本格的に上向きにはなっていない気がする。
	旅行代理店	町村合併の影響が心配である。
	タクシー運転手	昨年11月の内原イオンモールに続き、3月には京成百貨店が新規オープンする。客は、一時的に増加すると思われるが、景気回復の動きではないと思う。
	タクシー運転手	運賃のダンピング競争激化により、飲食店利用者等個人客の確保がますます難しくなっている。
	タクシー運転手	タクシーの運転手は、職業柄いろんな職業の方と接する機会があり、様々な情報を耳にする。最近ではデフレのためなのか、各業種で薄利多売のサービスが多いと感じる。タクシー会社で迎え料金を無料にしたり、自動車販売会社なら価格を大幅に値引きしたりする例を聞いた。
	レジャー施設	近隣にアウトレットモールが開店することにより、周辺施設の利用客も増加するものと予想される。
	レジャー施設	パレンティンデーの前後期間は、カップルでの利用が多く見られた。カップルは、家族連れよりも消費単価が大きい。
	理・美容店	3月に水戸京成百貨店が新装開店するが、これにより商店街がどこまで活性化するか見守りたい。
	建築設計事務所	県内全般で景気が良くなっているとは感じられない。県外の法人・企業との仕事にまで範囲を広げて仕事をせざるをえない状況である。
	企 業 関 連	製造業（食品）
製造業（食品）		閉店セール・改装セールを実施している店舗が目につく。
製造業（出版・印刷業）		1年前、県発行印刷物について、発注形態の変更（物品売買契約 製造請負契約）があったが、目立った変化はない。
製造業（土石製品）		公共工事の縮小に伴ない、中堅・小規模事業所の破産等が増えているようだ。
製造業（金属製品）		従業員の募集では、昨年と比べ応募者が少ない。

(2) 県央地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	製造業（一般機械器具）	建機メーカーを見学してきたが、2～3年先まで仕事が入っており、忙しいとのことだった。
	非製造業（建設業）	県央地区の建設業に活気がでてきたのは事実だが、残念なことに請負業者は殆ど都内の業者である。地元の業者に仕事を発注すれば、それだけ税収も増え、社会資本の整備や行政サービスの充実に繋がるということを、地元の住民はもっと意識しなければならないのではないか。また、地元還元を意識を促すよう行政も積極的にPRをして欲しい。
	非製造業（輸送業）	閉店セール中の百貨店や、春物セール中の店には客が多く入っている。
	非製造業（金融業）	3月中旬、水戸市の中心市街地に水戸京成百貨店が新装開店するが、このことによる顧客の動向、周辺店舗への波及効果等に注目している。また、これに続くダイエーやユニーの跡地利用計画にも期待したい。
	非製造業（広告代理業）	大型ショッピングセンターが相次いでオープンしていることにより、アルバイトやパートの求人が急増しており、なかなか充足されないようだ。
	非製造業（コンサルタント業）	エクイティマネー（若手企業家のためのファンド）が地方都市にまで還流している。現時点において、賃貸物件はファンドの対象になっている。
	非製造業（情報処理サービス）	景気好転感は、比較的大手企業や特定分野の企業には見られるが、中小規模企業には特に感じられない。有利子負債を抱える中小企業は、金利アップ等の動きを注視しているようだ。
雇用 関連	求人開拓員	先行投資としてスキルを身に付けさせた社員が2～3年で辞めて、福利厚生や賃金面が好条件の他社へ移ってしまうという悩みを、企業訪問の際に人事担当者から良く聞く。
	公共職業安定所	平成18年3月卒業予定者の高卒用求人受理件数は、2月末現在で1,260件であり、昨年同月比で9.9%増加している。
	学校就業担当者	水戸京成百貨店の新店舗完成が、水戸市中心部の空洞化にストップをかけられるかどうか注目したい。また、内原イオンモールの賑わいが、景気回復の兆候なのか一過性のものなのか、今後を見守りたい。

(3) 鹿行地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	小売業（金物店）	会社関係の設備投資が以前より増加している。
	商店街代表者	以前よりファミリーレストランが賑わっているようだ。また、地元飲食店でも営業努力をしている所は客を集めている。
	スーパー	最近、周囲で電化製品や乗用車を買った人が多い。
	自動車販売店	物件購入等の勧誘電話が依然として多い。景気が良い時は、このような電話は少なかった気がするのですが、まだまだ上向きではないように思う。
	スナック	市町村合併で村から市になったが、旧役場の職員も市の中央に行ってしまう、却って過疎化したような気がする。地域経済の活性化を期待している。
	小売業（菓子販売店）	商店街の店舗閉鎖が加速している。先日もコンビニが店舗閉鎖して、外周道路沿いに移転した。もはや商店街には高齢者しかいない状況である。
	洋食食堂	昨年10月に、市町村合併で新しい市ができた。これに伴い新規客が増え、売上げも伸びた。最近、大手飲食チェーンの店舗閉鎖が相次いでいる。足元を確かなものとしなければ、個人店の生き残りは更に難しいと思う。
	パチンコ店	大型スーパーができるにあたり、小規模なスーパーやホームセンターが撤退し始めている。目に見えて、二極化が進んでいると感じる。
	日本料理店	「本物の味」を損得抜きで追求してきた結果が、最近やっと出てきた。今後も、客に喜んで来店してもらえよう、色々工夫していきたい。
	クリーニング店	近所のカーテン業者では中国人労働者を多数雇用しているが、年末に契約期間の満了した20人が帰国し、その後追加補充をせずに仕事を続けている。今まで数ヶ所あった従業員用アパートも、1ヶ所を除き引き払ったようだ。
	室内装飾業	大型店のオープンが目立つ。
	サービス業	電力関係企業に設備投資の動きがあるようだ。
	住宅販売会社	新築時に大型薄型テレビを購入する客が増加している。また、若年層でも大型車を所有し、なおかつ住宅購入を検討している客がいる。
	住宅販売会社	安価なものに飛びつくのではなく、自分にとって価値があるなら多少高価でも購入するように消費者の傾向が変わってきたのではないかと。
ドライブイン	旬の農産物は、景気に関係なく良く売れている。	
企業関連	農業関係者	長期にわたる寒波で、周囲では何かしら被害を受けている。寒い時期は、路地物野菜は土が凍りつき収穫できないし、暖かくなって出荷をすれば、品物があふれており元が取れない。
	製造業（食品）	業種間、地域間、大・零細企業等の格差が益々開く気がする。
	製造業（窯業・土石製品）	昨年同期頃より、鹿嶋市内で、閉店後跡地に食文化に関する新店舗がオープンしたり、既存店舗の改修・リニューアルオープン等が目につくことから、外食をする余裕のある人が増えつつあるのではないかと。
	製造業（電気機械器具）	鹿行地区独特のものかもしれないが、大企業（鉄鋼）と中小企業（鉄鋼以外の地域産業）の間に景気格差があるように感じる。
	製造業（飼料製造）	最近急にゴルフ場の予約が取り難くなった。
	製造業（化学工業）	社員の厚生面での見直しや、設備等の安全面での向上に対し、企業が出費するようになってきた。

(3) 鹿行地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	非製造業（輸送業）	物流費に見合った貨物保管につき、長期的に契約し回転率を上げていくことが収益アップのためには大切である。しかし、国内の消費量は全体的に落ちてきており、回転率を上げることが難しい状況である。運送会社の運転手に聞いても、特段仕事が忙しい様子もなく、むしろ燃料費の値上がりで経営が厳しいようだ。
	非製造業（金融業）	小売業、不動産業で二極化傾向が更に進み、勝ち組と負け組の差が拡大している。
	非製造業（金融業）	地元で市町村合併があったが、現在のところ合併の利点が見当たらない。
	非製造業（不動産業）	環境の良い住宅地の注文が若干増えているものの、売物の物件が少ない。また、あっても価格が高いため、取引が成立しづらい状況である。
雇用 関連	民間職業紹介業	求人増に伴う、量的な求職者不足及びスキルのな人材不足が依然として続いており、マッチングが十分図れない状況にある。
	学校就業関係者	近所で施設の修繕工事をしているが、普段より多い人数で短期間に集中的に工事しているようだ。
	求人開拓員	求人が未充足の事業所が増加している。

(4) 県南地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 開 連	商店街代表者	規模の大小に関わらず、スーパーマーケットの開・閉店のサイクルが激しい。
	スーパー	以前は求人募集を出すとすぐに人員を補充することができたが、ここ数ヶ月は募集をかけても問い合わせがなかなか来ない状況である。
	スーパー	酒税率アップに対応した店頭での売価設定に苦慮している。
	スーパー	常磐線石岡駅前の商店街は、週末でも閑散としているが、郊外の幹線道路沿いでは、外食産業や小売業の出店が相次いでいる。
	コンビニエンスストア	喫煙者が減少しているため、タバコの売上げが落ちている。
	農産物直売所	野菜・米等の農産物に関しては、天候により作物の出来・不出来が大きく左右され、売上げにも影響があるため予測が難しい。
	ガソリンスタンド	つくばエクスプレスの開業に伴ない、売上げが3割近くダウンしたと、土浦市タクシー業界の多くの経営者が言っている。
	洋食食堂	土浦市の中心市街地や駅周辺に、マンションが建築されるようだが、これにより少しでも人口が増加してくれることを期待したい。
	洋食食堂	つくばエクスプレス開業によって、守谷市の開発が進む一方で、取手市の沈静化が懸念される。常磐線取手駅の乗降客数や市内飲食店の来客数が減少しているほか、国道294号線の交通量も少なくなっているように思う。夜になると更に差は顕著となり、守谷市内はいつまでも賑やかなのに対し、取手市内は暗く、景気の良し悪しが明確に表れているように感じる。
	寿司店	つくばエクスプレスの開業により、都心まで1時間ほどで行けるようになり、行動範囲が広がった。
	都市型ホテル	つくばエクスプレス開業は、当社の売上げ増に大きく貢献している。今後、住宅・マンションの新設や企業進出等の沿線開発が進むことにより、更なる売上げ増を期待している。
	ゴルフ場	土・日・祭日等、料金が割高な日に関わらず、コンペ等の申込みが多く、しかも社用接待費での来場者が増加しているのは、好況を予感しているからではないか。
	パチンコ店	これから集客を増やすために必要なのは、ハード面の充実よりもむしろソフト面の向上なのではないか。液晶テレビ等の高額な家電製品が売れている状況を見ると、付加価値のある商品の強さを実感する。
	理・美容店	まちづくり活性化バス「きららちゃん」が総務省の地域づくり総務大臣表彰をもらったり、大型店舗閉店後の跡地にマンションが新設されることが決まったり、土浦市では明るい話題が少しずつ増えてきている。市内に人が集まることにより、商店街も賑やかになり、地域経済も活性化されていくことを期待している。
建築設計事務所	大手業者による複合集合店舗の建設が目立つ。	
企 業 開 連	製造業（食品）	マスコミ等では景気回復と報じているが、身近には感じられない。
	製造業（食品）	つくばエクスプレス開業に伴うマスコミ取材は、つくば市や周辺地区にとって大きな観光PRとなった。筑波山を始め、研究学園都市の施設には、沿線からの客が増加している。しかし、沿線開発業者が地元業者ではないので、地元経済にどれほどの経済効果をもたらしているのかは疑問である。
	製造業（食品）	マスコミでは景気回復と報道しているが、実感できない。
	製造業（コンクリート製造業）	原油価格が高止まりしていることが、今後企業収益等にどのように影響するか気になる。
	製造業（金属製品）	原材料のアルミ地金は、前年比50%強値上りしており、かつ数量の確保も難しい状況である。また、メーカー側のコストダウン要請も強まっており、価格転嫁も困難な中小企業は、赤字転落もしくは廃業を余儀なくされつつあるのではと心配している。

(4) 県南地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	非製造業（建設業）	以前は、取引先の担当者と接触する機会が多かったので、向こう1~2年先の工事計画等について、会話の中で耳にすることができたが、最近は受付カウンター等があり、業者が直接担当者と接することが難しくなったため、情報が入手しづらい。景気の話をする機会も少なくなっているため、企業の動向や様子を掴むチャンスがなかなかない。
	非製造業（建設業）	当社では貸事務所を所有しているが、昨年空室になり、借手がみつからないまま現在に至っている。他の空店舗もなかなか埋まらないようだ。
	非製造業（建設業）	つくば市中心部には、飲食店が300件位あるが、開店・閉店のサイクルが激しい。安くて美味しい店には、他市町村からも客が集まり、週末には駐車するのに20分以上待つこともあるという。つくばエクスプレスの開業効果もあり、この1年でつくば市を訪れる人は倍位になったと感じる。
	非製造業（不動産業）	地域・業種ともに二極化が顕著になっていると思う。スポットライトを浴びた場所（中心部）とそうでない場所（周辺部）の落差が激しい。
	非製造業（金融業）	「不景気だね」という言葉を、発する・耳にする機会が少なくなってきたおり、マインドとしては不景気から徐々に脱している感じがする。
雇用 関連	雇用相談員	一部の機械製造メーカーにおいては、先行きの見通しを慎重に考えて派遣社員を頼んでいたが、技術の伝承等を考慮して正社員の登用を積極的に行い出した。
	求人広告	必要な物は高額でも購入する、という傾向は以前より強まっていると思う。
	学校就業関係者	来年度の求人票が既に届いているので、雇用現場の末端では感じ難いが、少し上の企業段階では景気が随分上向いているのではないかと推測している。

(5) 県西地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	スーパー	スーパーマーケット業界は競争が激化しており、商品単価の下落が収まらない苦境だが、逆に消費者にとっては、商品の選択次第で生活費を節約できる有利な状況ともいえる。
	コンビニエンスストア	新商品や価値感のある商品への購買意欲が、より高まっているように感じる。
	ガソリンスタンド	筑西市内の映画館が2館とも閉店に追い込まれている。郊外の大型ショッピングセンターに併設されたシネコンに客を奪われているのか、家庭用DVDの普及等によるものか理由は判然としないが、青春時代に通った映画館がなくなるのは寂しい限りだ。
	洋食食堂	近所に出店予定の飲食店がいくつかある。
	和食食堂	高額商品の売行きが好調だが、消費の二極化は更に進む傾向にある。
	都市型ホテル	価格に対してあまり注文をつけずに、内容にこだわる客と、一定予算に縛られる客とに二極化してきている。
	旅行代理店	若年労働者の就職定着率が低いのが気になる。
	タクシー運転手	景気は上向きとの政府発表があったが、タクシー業界ではそのような実感はない。
	タクシー運転手	土浦市内の病院が、規模を拡大し新規開院した。新しい病院は、駅よりも離れているため、タクシー利用客が大幅に増加すると見込んでいたが、市内のタクシー業者の1つが病院の敷地内に待機場所を作り営業しているため、当社には見込んだほど仕事は増えなかった。
	レジャー施設	観梅の時期なので、偕楽園や筑波山梅林への客足が気になるところだが、中でも若年層は「梅林」に興味を持ち観光しているのだろうかとか時々疑問に思っていた。今後加速する少子化のことを念頭におくと、若者達が足を運びたくなくなる新しい戦略を考えることが、観光客減少を食い止める最大の防御になると思う。
	理・美容店	「忙しくて仕事が間に合わない」とか「単価は安いけど仕事量は物凄く多い」という声を耳にする。
建築設計事務所	地元商店街の店舗閉鎖が目立ってきた。つくばエクスプレス駅周辺とそれ以外の地区との格差が、今後益々広がることを危惧している。	
企業関連	製造業（食品）	冬季オリンピック日本選手団のメダル数が多ければ、高揚感も手伝って、購買意欲や消費意欲が活性化されたと思うが、不調な結果に終わったので、これが景気に逆効果とならないか多少気にかかる。
	製造業（印刷業）	古河市内の映画館が5月で閉店する。20～30km近辺にシネコンが出来た影響だが、昭和28年にオープンし、50年以上続いた歴史が終わってしまうのは寂しい限りだ。当社でも、毎月チラシの発注を受けていただけに他人事ではない。時代の移ろいを改めて感じるとともに、時代に即した変化を念頭に置かないと生き残れない事を勉強させてもらった。
	製造業（石材業）	石材の製造受注はほとんど無くなってきている。これを直販の売上げでカバーしている業者が大半なのではないか。
	製造業（石材業）	財政難を理由に、行政経費の削減、交際費や食糧費の圧縮等により、無駄を少なくしていこうという方向に向かっている地方公共団体の姿を見ることが多くなった。不景気は悪い面ばかりではなく、行政改革等の社会的進歩を加速させる効果もあるのだと思う。
	製造業（化学工業）	海外に生産移管が進んでいる製品や、市場が日本国内だけでなく世界中に広がっている製品の需要は、国内景気に一致しない。このような動きが年々顕著になっているように思う。
	製造業（印刷業）	つくばエクスプレス沿線の開発が急ピッチで進んでいる。特に守谷地区の利便性が再認識されているように思う。みらい平駅周辺には、ショッピングセンターが2つ開店し、急速に活気づき始めている。
非製造業（建設業）	比較的規模が大きく、設備投資ができる企業は、ますます見通しが明るそうだが、設備投資すらままならない企業では、先行きがかなり厳しいのではないかと。	

(5) 県西地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	非製造業（金融業）	つくばエクスプレス開業による波及効果は実感として無く、景気回復への糸口は依然として見えない。
	非製造業（不動産業）	不動産の底値感があるようで、今後の売買価格はどう変化していくのかという質問が多くなってきた。
	非製造業（広告業）	同業者の競争が激化していると感じる。
	非製造業（コンサルタント業）	取引先の様子からも、以前に比べ忙しくなってきたような気がするが、薄利若しくは赤字覚悟での仕事が多く、本当の意味での景気底上げには貢献していないように思う。
雇用 関連	人材派遣業	ここ数年、携帯電話と自動車関係の求人が多い。
	求人広告	県西方面へ向かう道路の交通量が多いように思う。
	学校就業関係者	金型業界で、量産に向けた仕事があるものの、仕事量の割に賃金が低い。